

最近の河川事業を取り巻く話題

三重河川国道事務所
令和7年1月21日



国土交通省中部地方整備局

三重河川国道事務所

令和6年の出水状況について

令和6年台風第10号における 出水状況について



佐奈川 西山橋水位観測所(3.9k右岸) 8月31日14:30頃

国土交通省 中部地方整備局
三重河川国道事務所
蓮ダム管理所

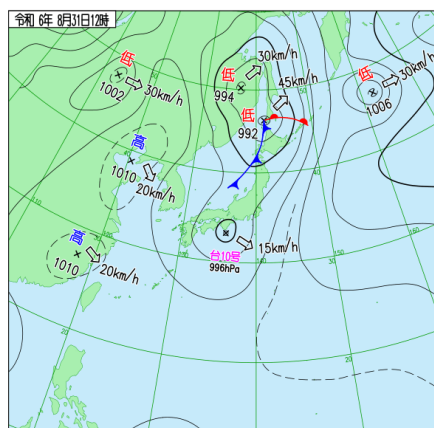
令和6年台風第10号における出水状況

○出水概要(雨量状況)

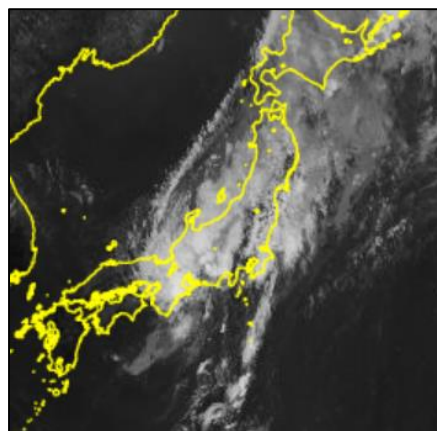
○令和6年台風第10号の影響により大気の状態が不安定になり、8月29日から31日にかけて三重県内では大雨となり、8月31日には「顕著な大雨に関する情報」が出されました。

○鈴鹿川水系鈴鹿川流域、鈴鹿川水系内部川流域、雲出川水系中村川流域、雲出川水系波瀬川流域、櫛田川水系佐奈川流域での8月29日から31日の累計降水量は以下を記録しました。

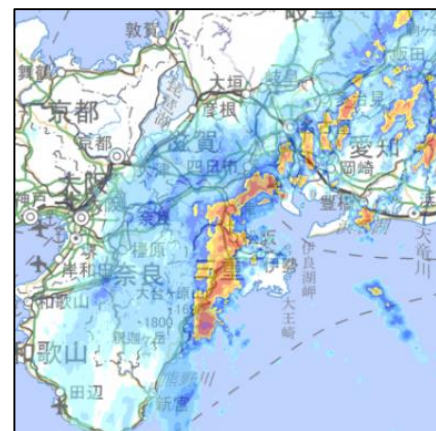
・亀山雨量観測所	272mm(時間最大32mm/h)	※鈴鹿川流域
・山之坊雨量観測所	304mm(時間最大40mm/h)	※内部川流域
・宇気郷雨量観測所	452mm(時間最大55mm/h)	※中村川流域
・室の口雨量観測所	388mm(時間最大29mm/h)	※波瀬川流域
・相可雨量観測所	455mm(時間最大66mm/h)	※佐奈川流域



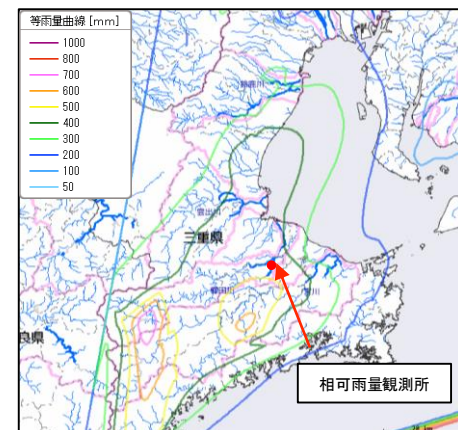
8月31日 12時 実況天気図
出典: 気象庁HP



8月31日 13時 気象衛星画像
出典: 気象庁HP



8月31日 13時 レーダー雨量
出典: 川の防災情報



等雨量曲線図
8月29日0時～8月31日24時
出典: 統一河川情報

令和6年台風第10号における出水状況

○出水概要(水位状況)

○櫛田川水系佐奈川の西山橋水位観測所(多気町)のピーク水位は、観測史上第2位となる3.62mを記録し、計画高水位を超過し溢水が発生しました。

○雲出川水系中村川の島田橋水位観測所(松阪市)のピーク水位は氾濫危険水位を超過しました。

○鈴鹿川水系鈴鹿川の高岡水位観測所(鈴鹿市)、鈴鹿川水系内部川の河原田水位観測所(四日市市)、雲出川水系波瀬川の下川原橋水位観測所(津市)のピーク水位は避難判断水位を超過しました。

佐奈川の浸水状況(4.6k付近右岸)

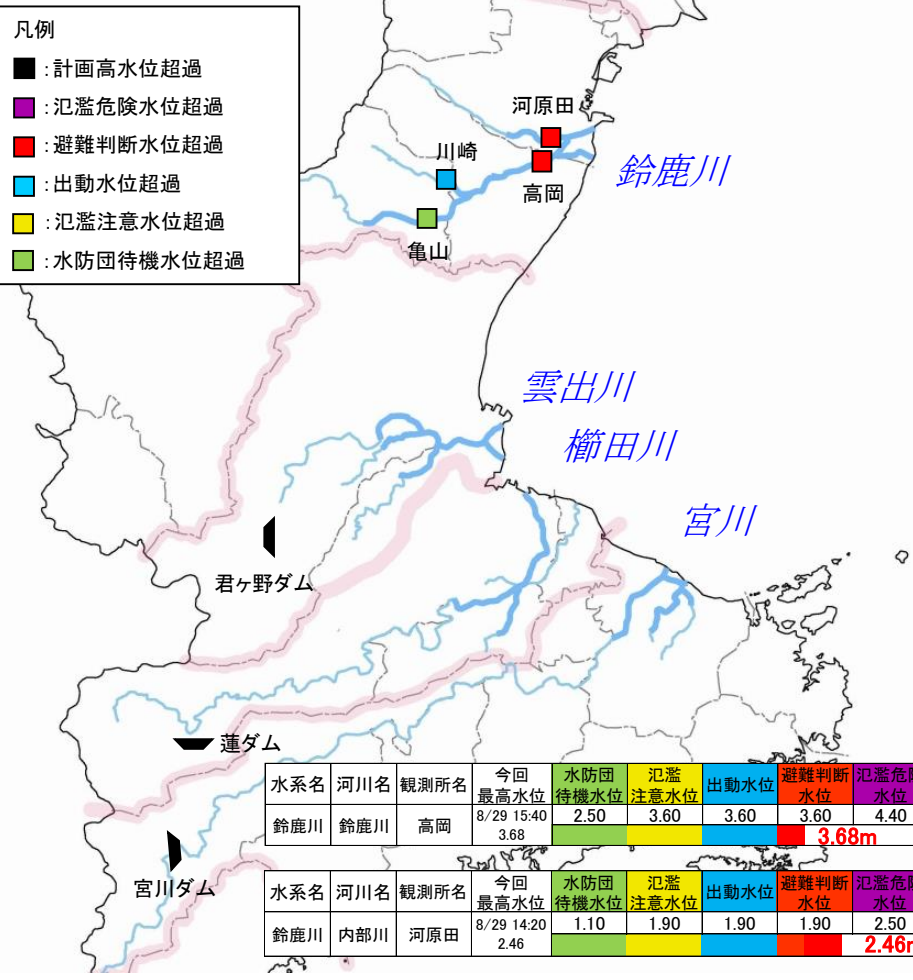


過去のピーク水位(西山橋水位観測所)

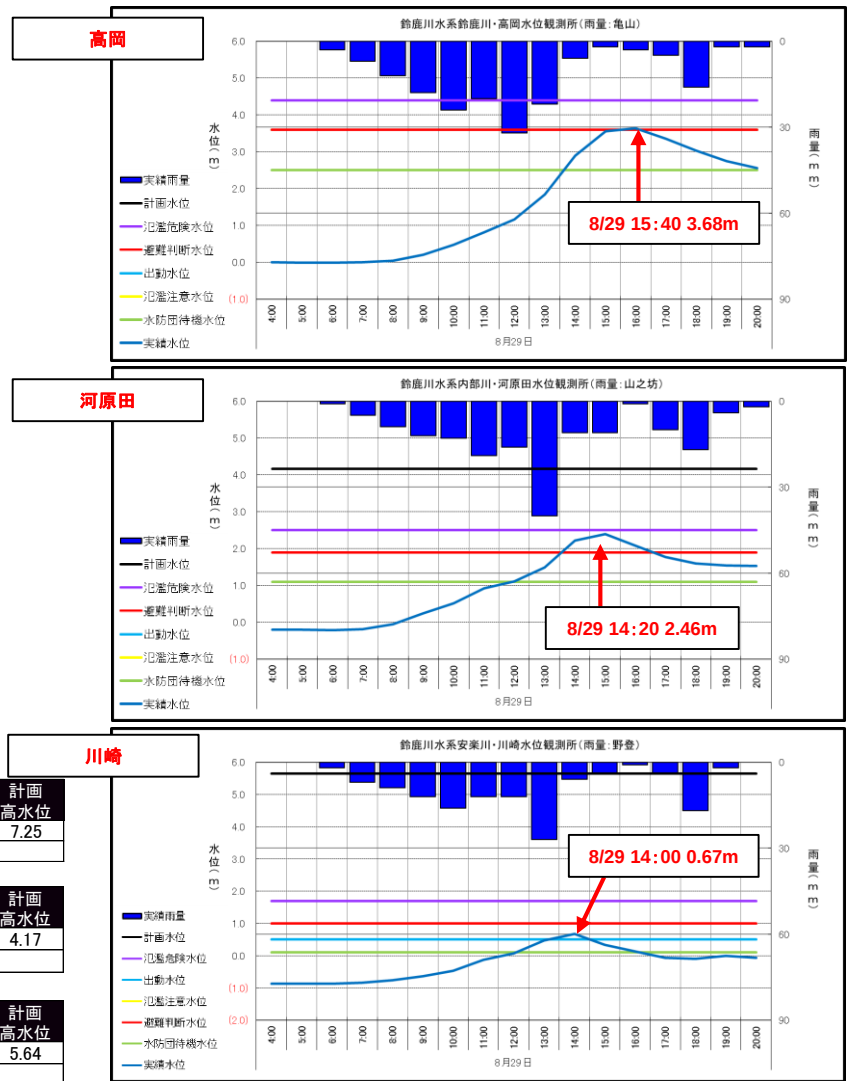
順位	出水年月日				出水名称	水位(m)
1	平成29年	10月21日	～	10月23日	台風第21号	3.87
2	令和6年	8月29日	～	8月31日	台風10号	3.62
3	平成7年	5月10日	～	5月12日	低気圧	3.42
4	平成27年	8月24日	～	8月26日	台風第15号	3.38
5	平成2年	9月19日	～	9月20日	台風第19号	3.37
6	平成26年	8月9日	～	8月10日	台風第11号	3.37
7	平成16年	9月28日	～	9月30日	台風第21号	3.36
8	昭和49年	7月7日	～	7月8日	梅雨前線	3.30
9	平成6年	9月27日	～	9月30日	台風第26号	3.28
10	平成3年	9月17日	～	9月19日	秋雨前線・台風第28号	3.26

今次出水における水位状況(鈴鹿川水系)

- 鈴鹿川水系 鈴鹿川 高岡水位観測所において避難判断水位を超過。
- 鈴鹿川水系 内部川 河原田水位観測所において避難判断水位を超過。
- 鈴鹿川水系 安楽川 川崎水位観測所において出動水位を超過。

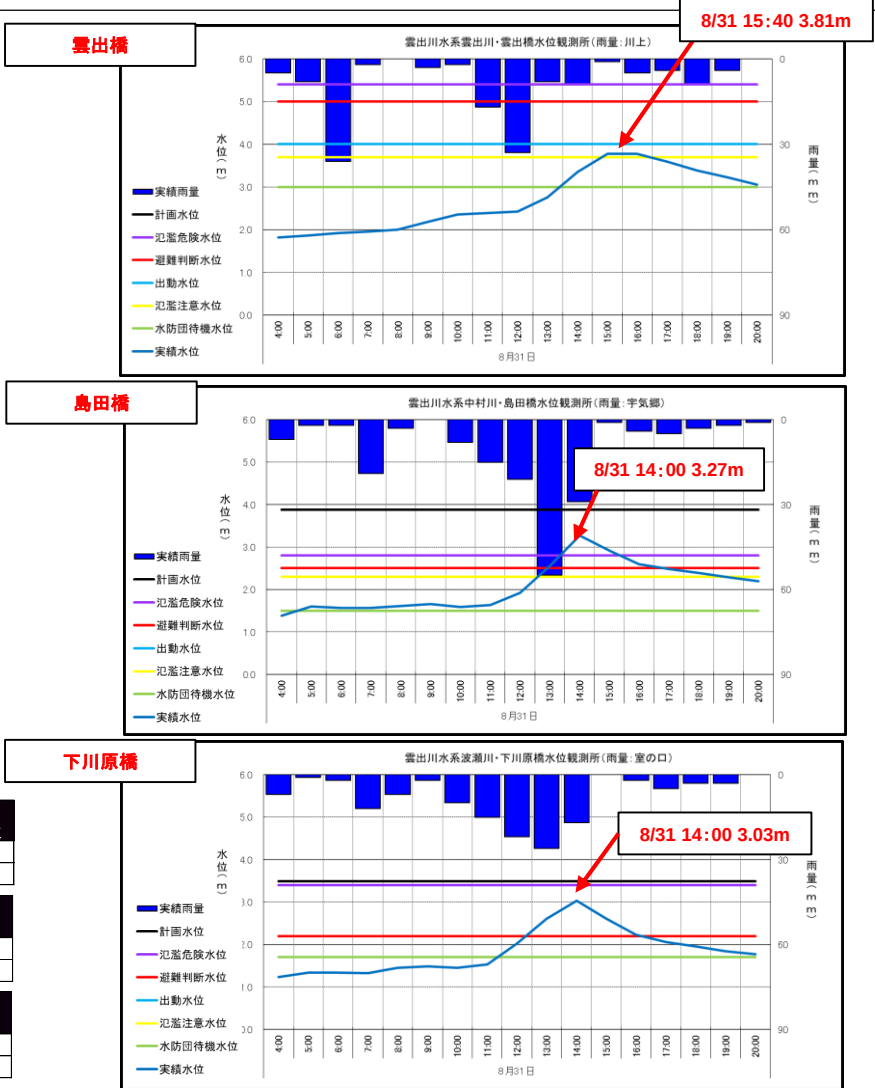
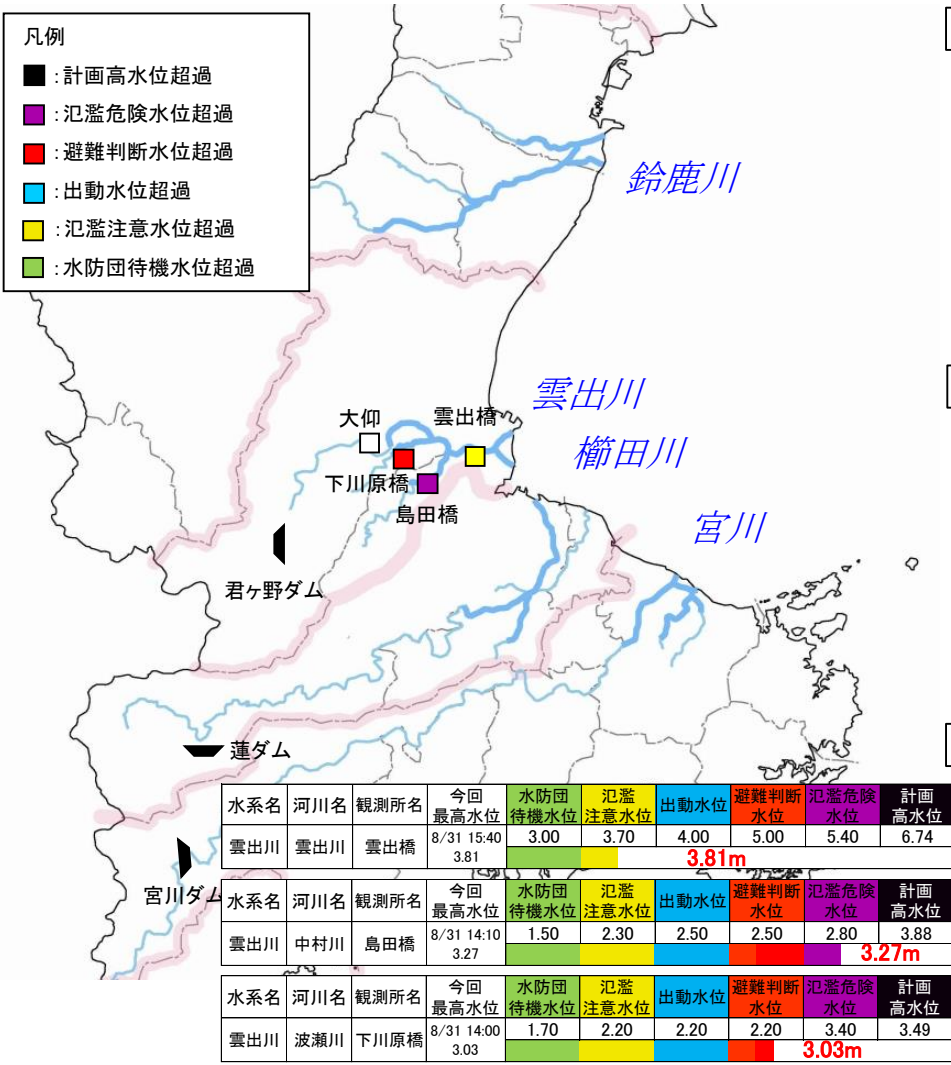


水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難判断 水位	氾濫危険 水位	計画 高水位
鈴鹿川	鈴鹿川	高岡	8/29 15:40 3.68	2.50	3.60	3.60	3.68m	4.40	7.25
鈴鹿川	内部川	河原田	8/29 14:20 2.46	1.10	1.90	1.90	2.46m	2.50	4.17
鈴鹿川	安楽川	川崎	8/29 14:00 0.67	0.10	0.50	0.50	0.67m	1.70	5.64



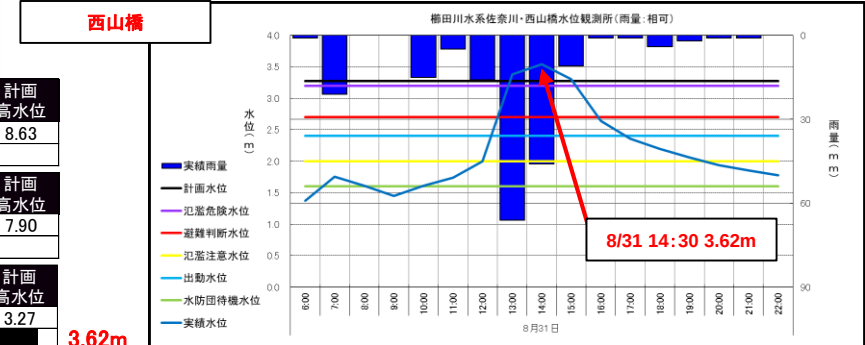
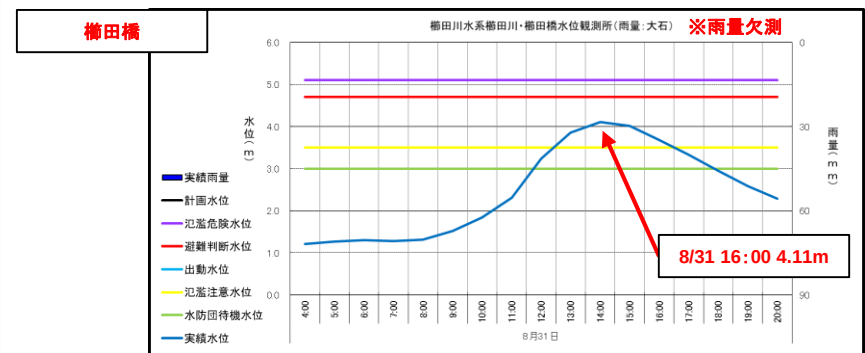
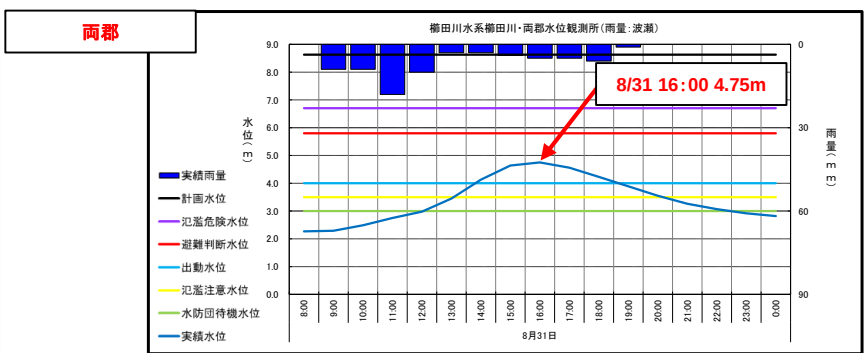
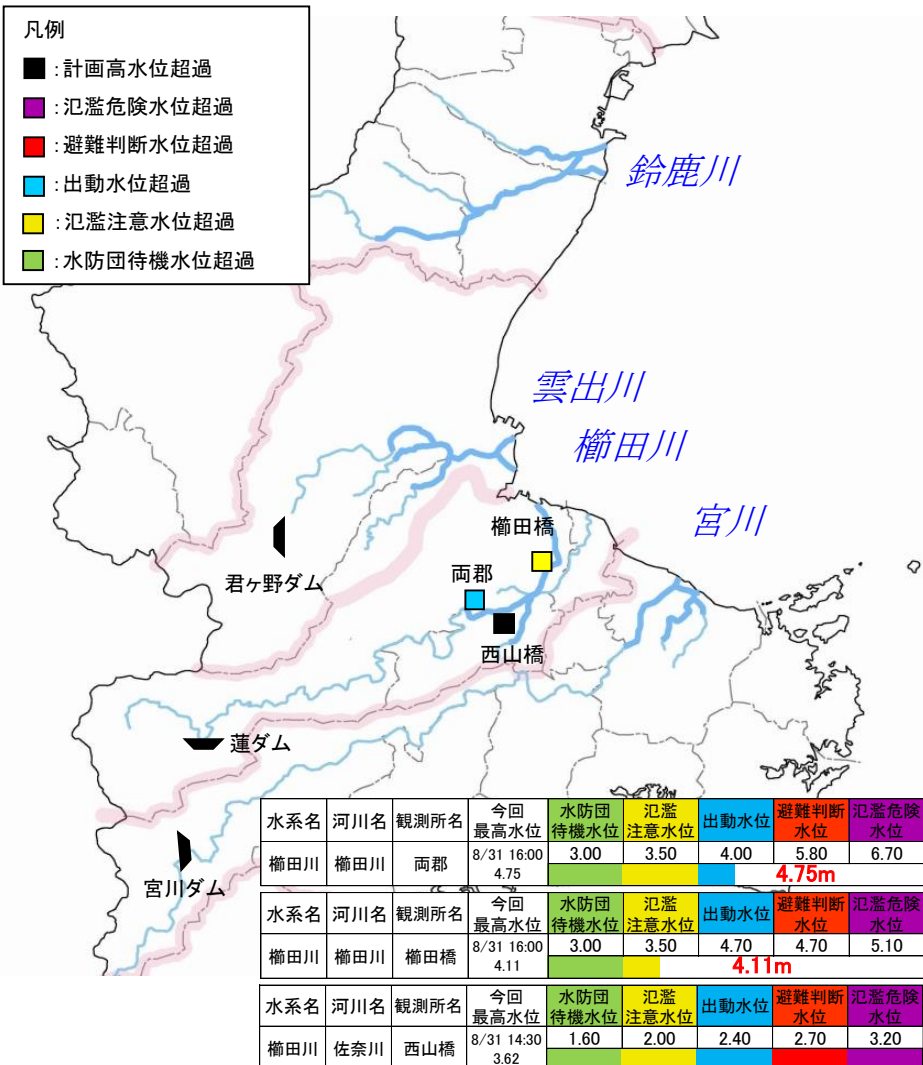
今次出水における水位状況(雲出川水系)

- 雲出川水系 雲出川 雲出橋水位観測所において**氾濫注意水位**を超過。
- 雲出川水系 中村川 島田橋水位観測所において**氾濫危険水位**を超過。
- 雲出川水系 波瀬川 下川原橋水位観測所において**避難判断水位**を超過。



今次出水における水位状況(櫛田川水系)

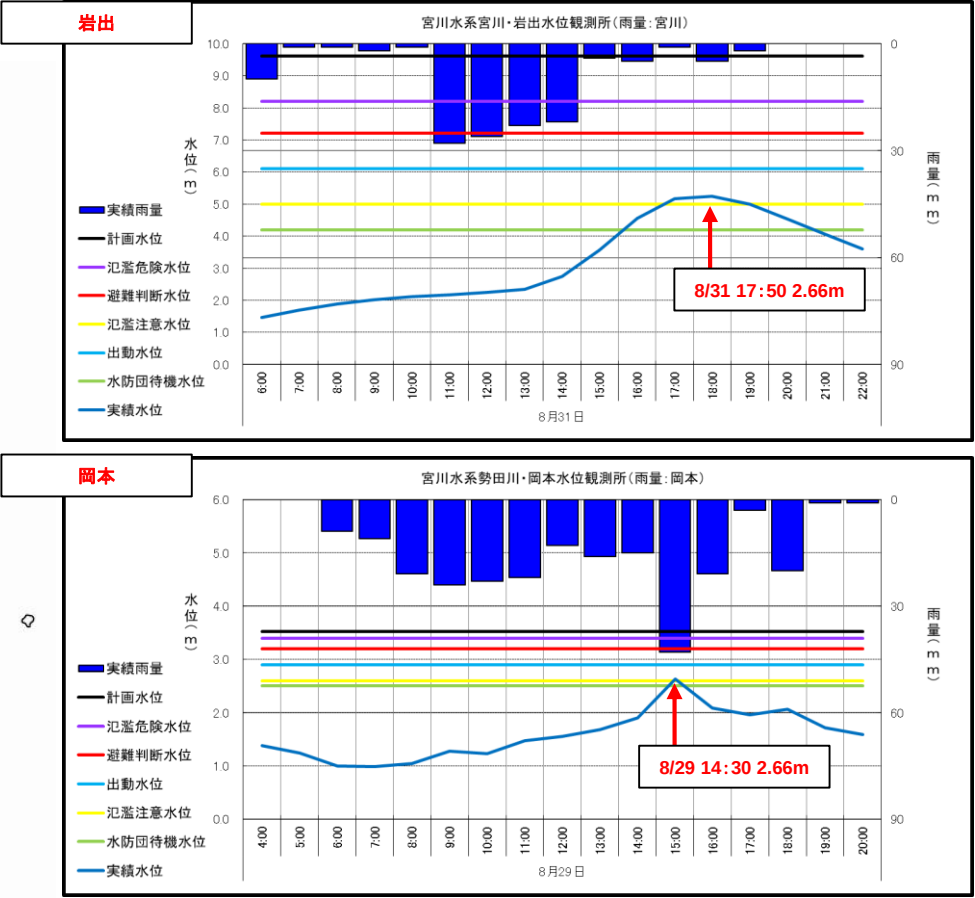
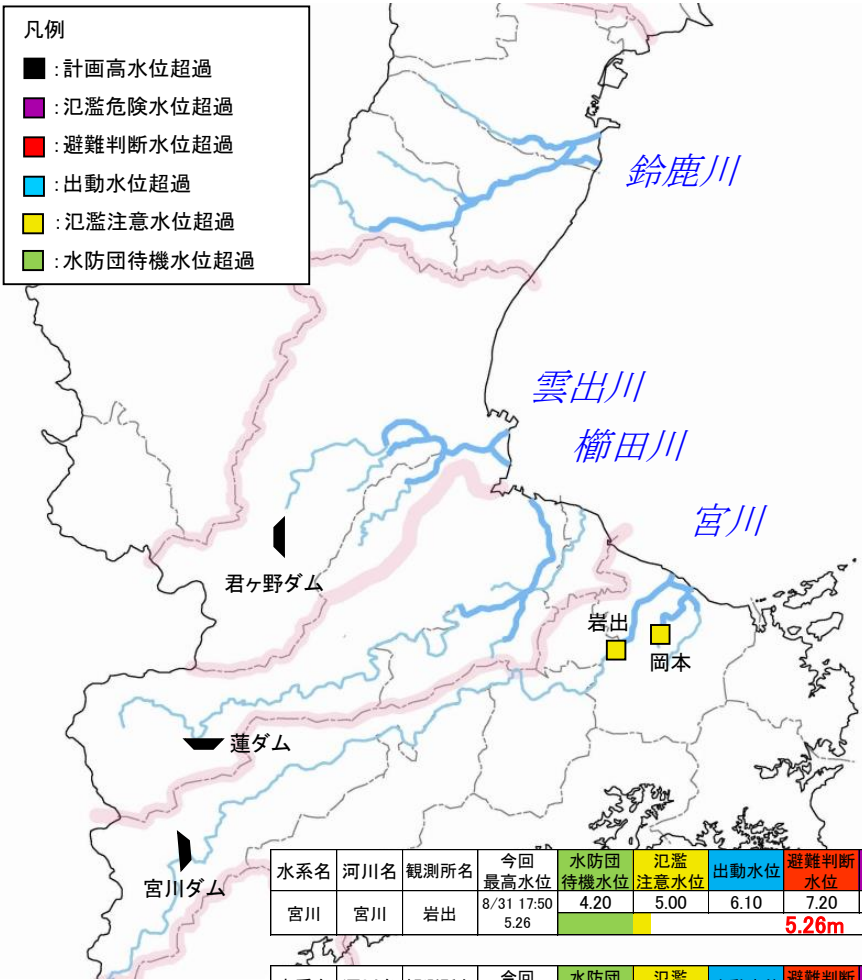
- 櫛田川水系 櫛田川 両郡水位観測所において**出動水位**を超過。
- 櫛田川水系 櫛田川 櫛田橋水位観測所において**氾濫注意水位**を超過。
- 櫛田川水系 佐奈川 西山橋水位観測所において**計画高水位**を超過。



水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難判断 水位	氾濫危険 水位	計画 高水位
櫛田川	櫛田川	両郡	8/31 16:00 4.75	3.00	3.50	4.00	5.80	6.70	8.63
			4.75m						
水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難判断 水位	氾濫危険 水位	計画 高水位
櫛田川	櫛田川	櫛田橋	8/31 16:00 4.11	3.00	3.50	4.70	4.70	5.10	7.90
			4.11m						
水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難判断 水位	氾濫危険 水位	計画 高水位
櫛田川	佐奈川	西山橋	8/31 14:30 3.62	1.60	2.00	2.40	2.70	3.20	3.27
			3.62m						

今次出水における水位状況(宮川水系)

- 宮川水系 宮川 岩出水位観測所において**氾濫注意水位**を超過。
- 宮川水系 勢田川 岡本水位観測所において**氾濫注意水位**を超過。

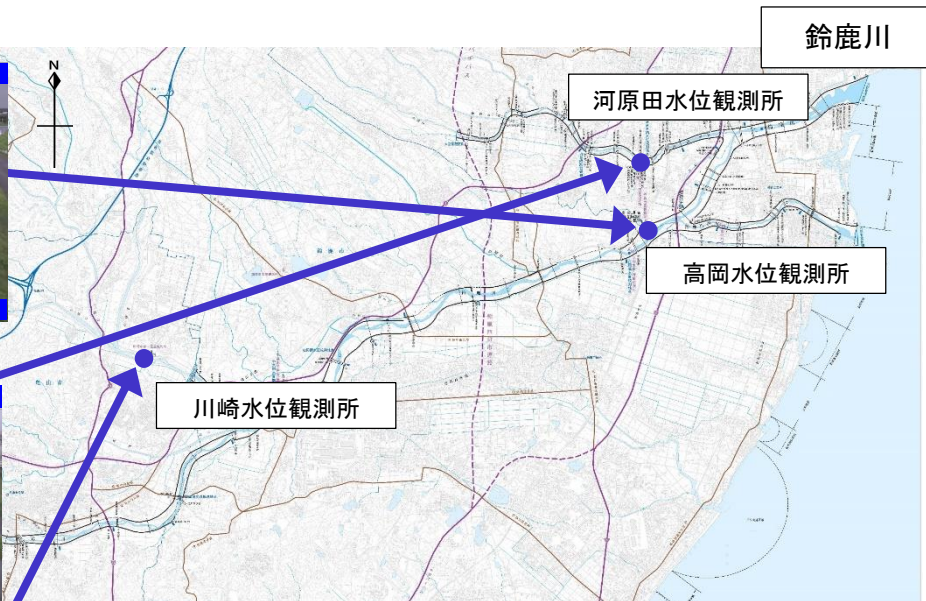


水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難判断 水位	氾濫危険 水位	計画 高水位
宮川	宮川	岩出	8/31 17:50 5.26	4.20	5.00	6.10	7.20	8.20	9.61
			5.26m						

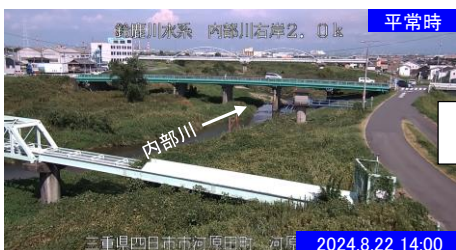
水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難判断 水位	氾濫危険 水位	計画 高水位
宮川	勢田川	岡本	8/29 14:30 2.66	2.50	2.60	2.90	3.20	3.40	3.52
			2.66m						

平常時と出水時の比較

■鈴鹿川水系 鈴鹿川 高岡水位観測所



■鈴鹿川水系 内部川 河原田水位観測所



■鈴鹿川水系 安楽川 川崎水位観測所



平常時と出水時の比較

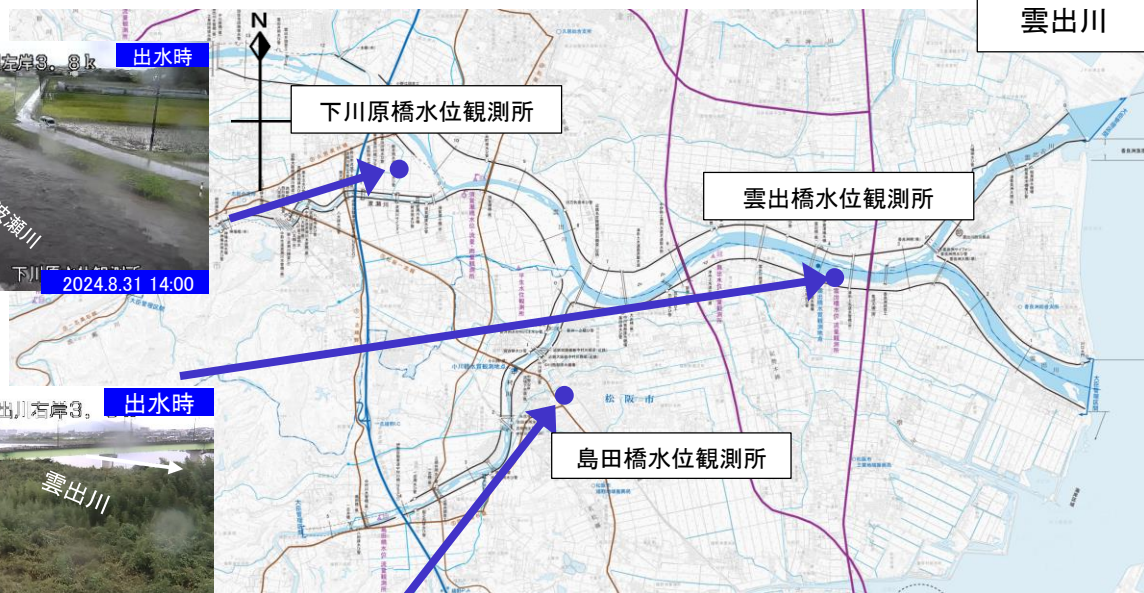
■雲出川水系 波瀬川 下川原橋水位観測所



■雲出川水系 雲出川 雲出橋水位観測所



■雲出川水系 中村川 島田橋水位観測所



平常時と出水時の比較

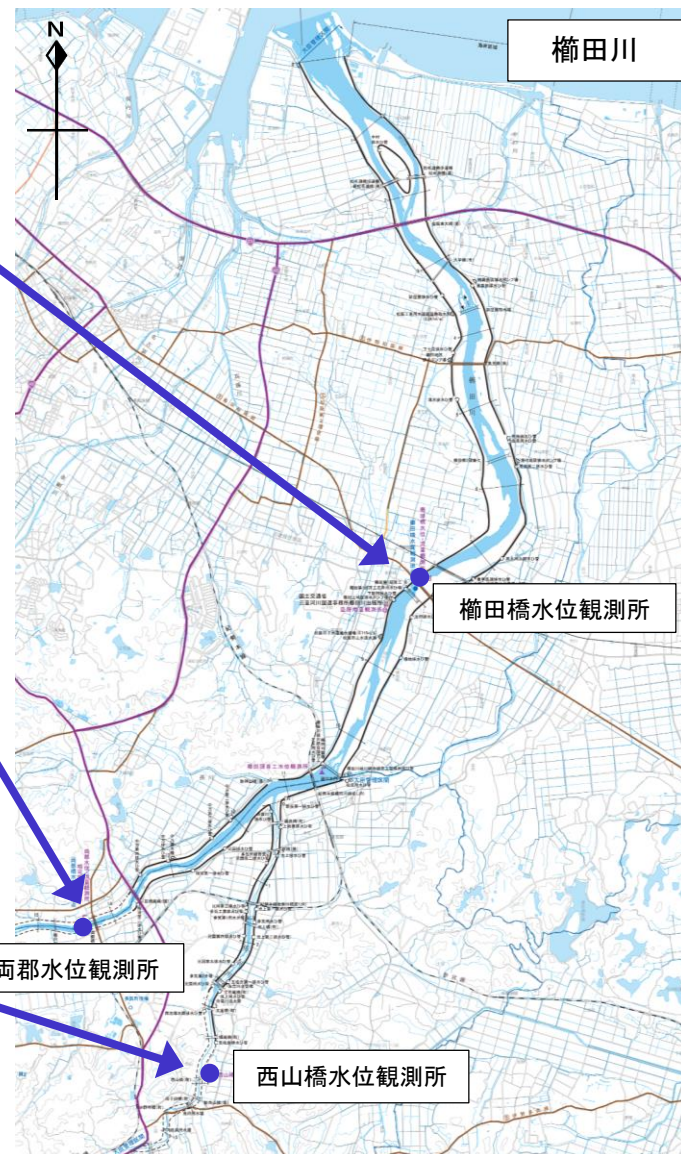
■ 櫛田川水系 櫛田川 櫛田橋水位観測所



■ 櫛田川水系 櫛田川 両郡水位観測所



■ 櫛田川水系 佐奈川 西山橋水位観測所

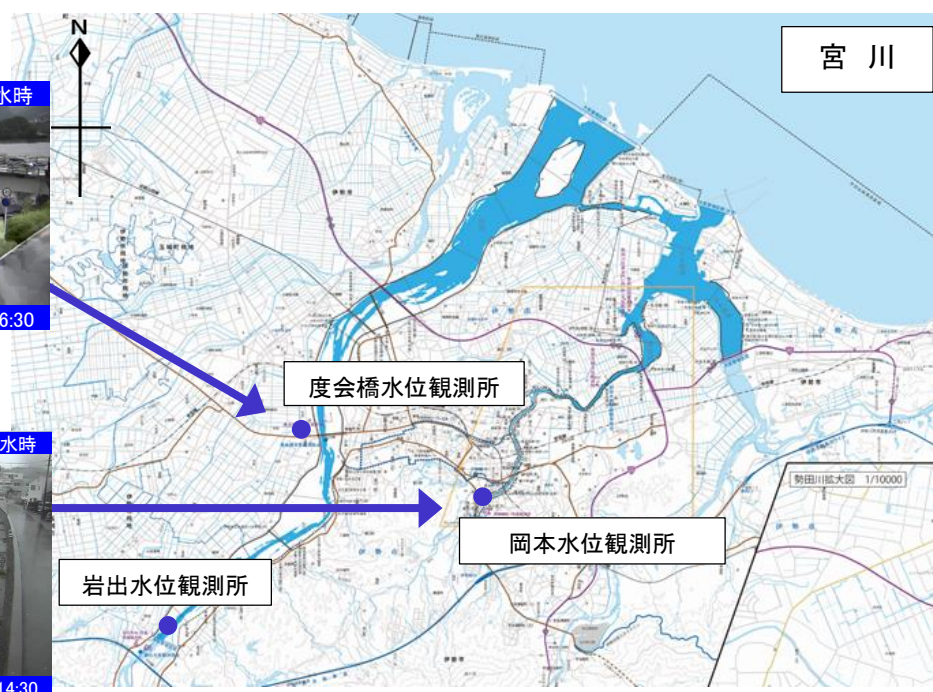


平常時と出水時の比較

■宮川水系 宮川 度会橋水位観測所

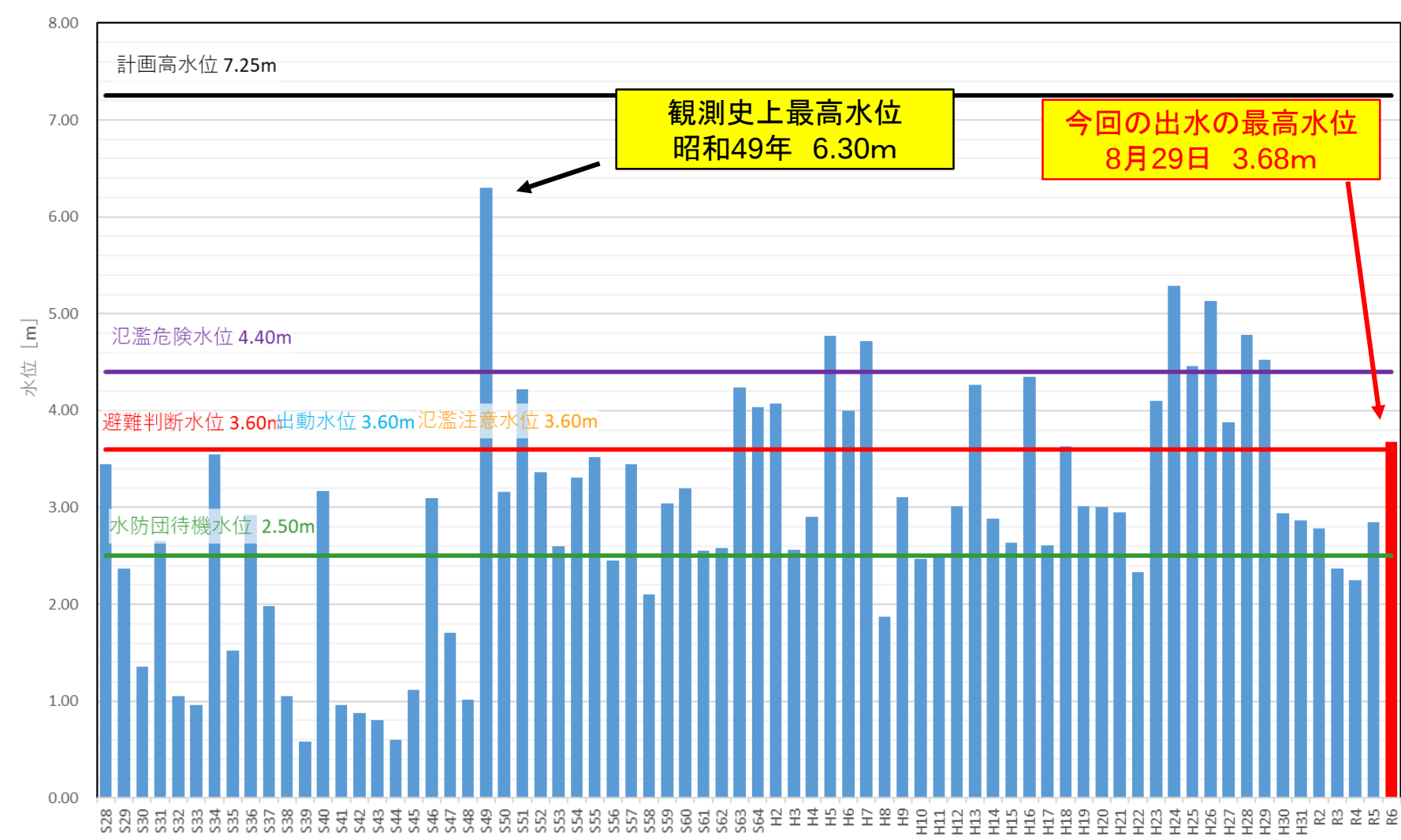


■宮川水系 勢田川 岡本水位観測所



水位の概要(高岡水位観測所:鈴鹿川水系鈴鹿川)

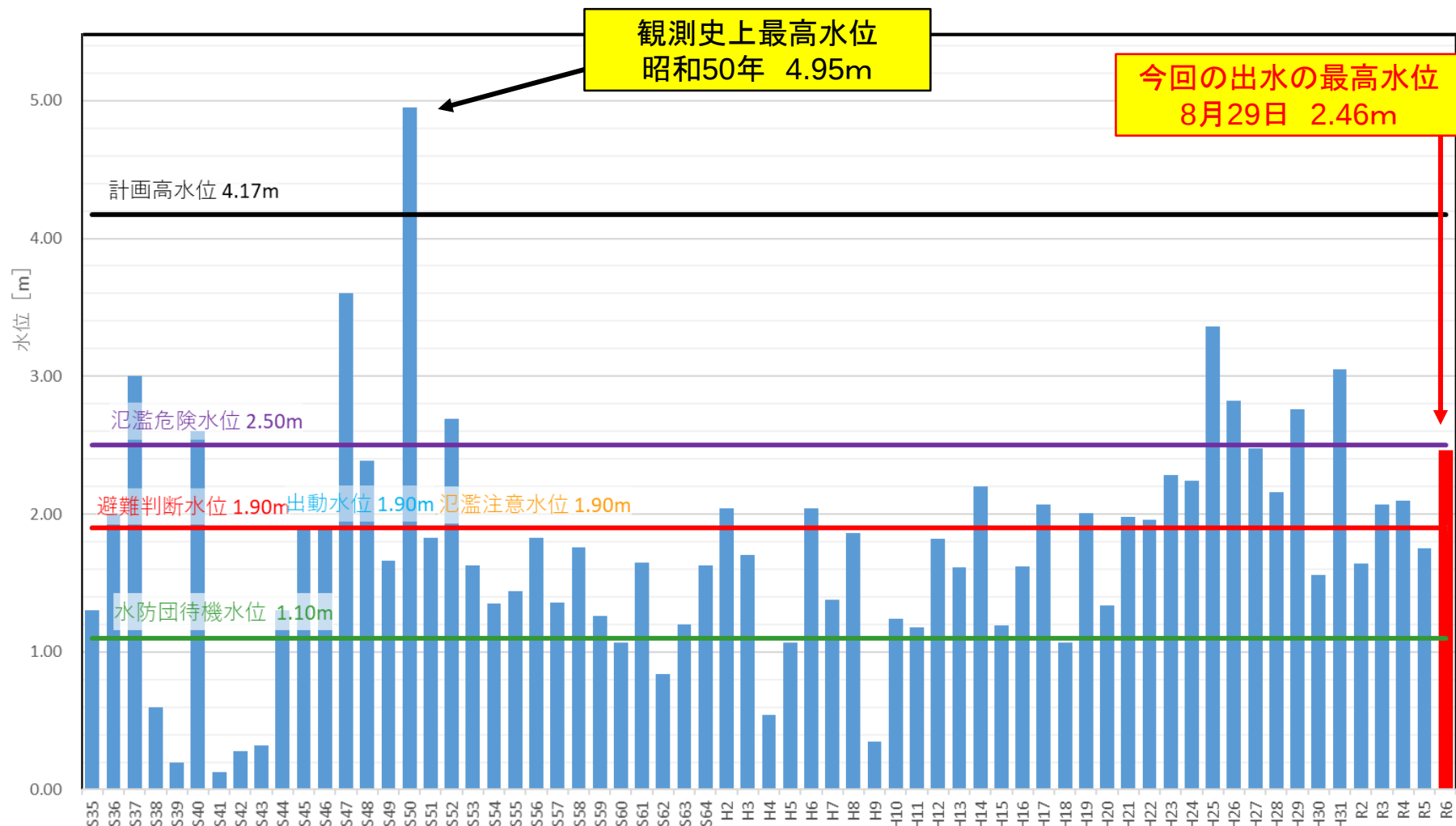
鈴鹿川（高岡水位観測所）の年最高水位比較図



※本資料の令和6年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

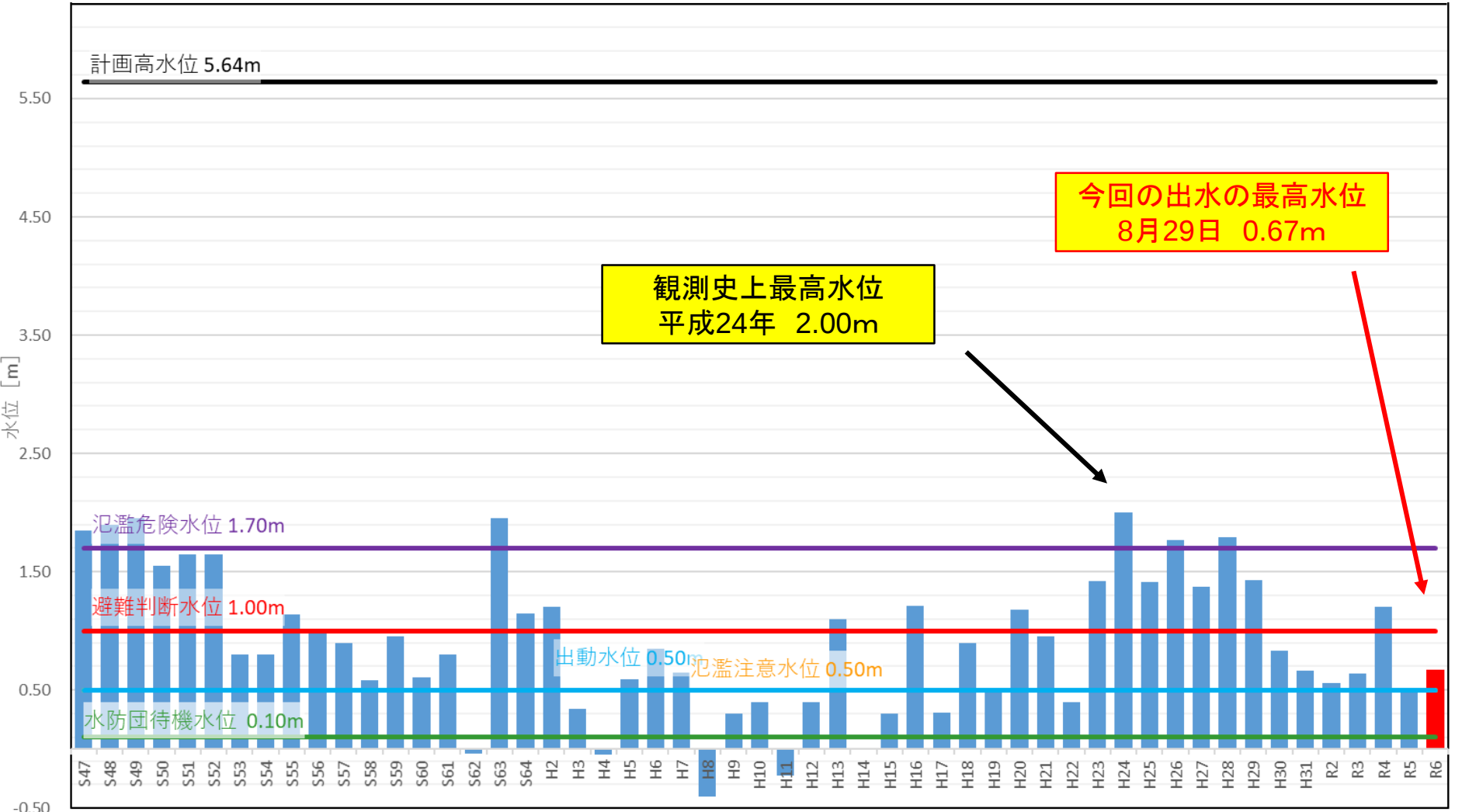
水位の概要(河原田水位観測所:鈴鹿川水系内部川)

内部川（河原田水位観測所）の年最高水位比較図



※本資料の令和6年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

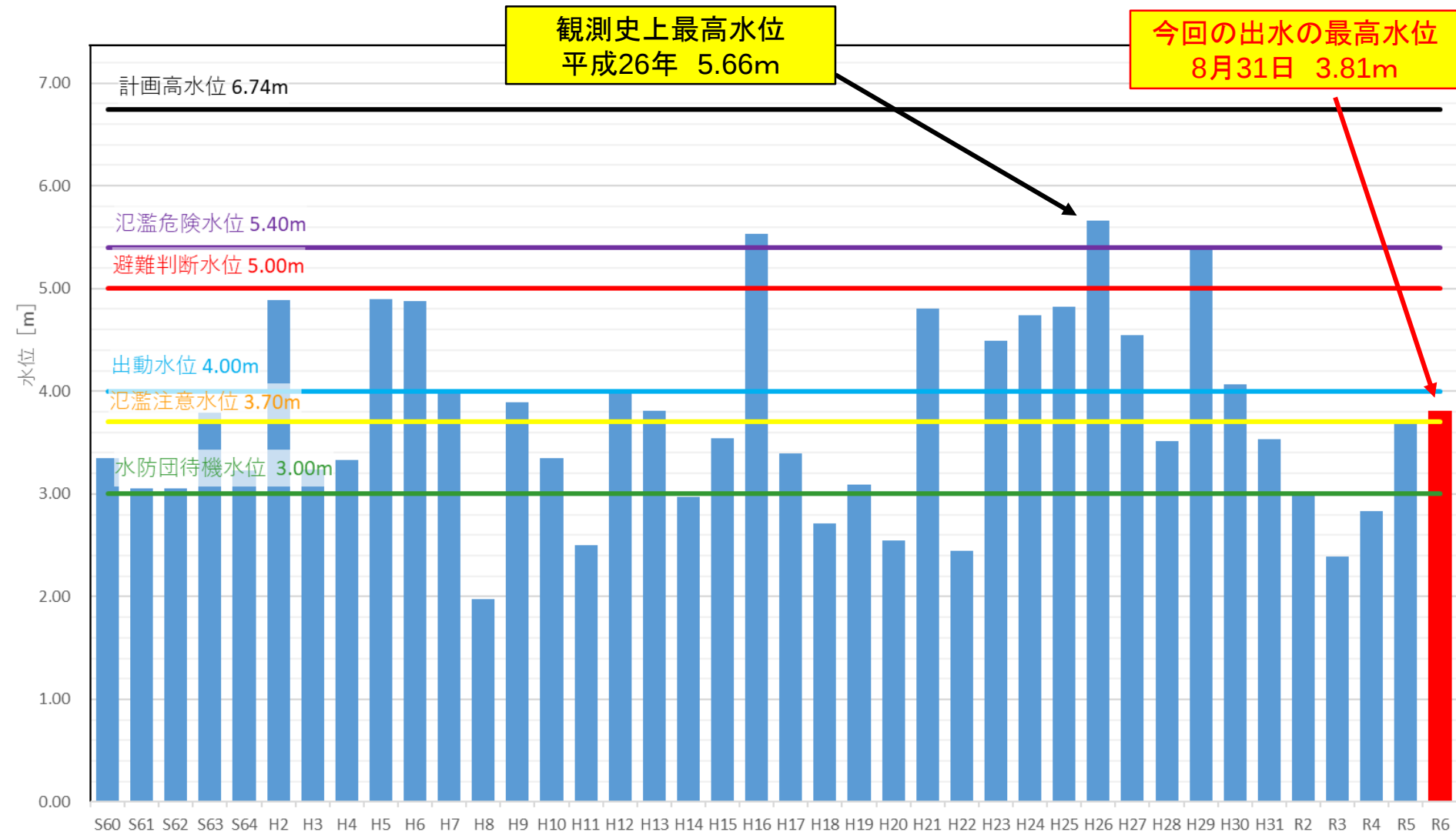
安楽川（川崎水位観測所）の年最高水位比較図



※本資料の令和6年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(雲出橋水位観測所:雲出川水系雲出川)

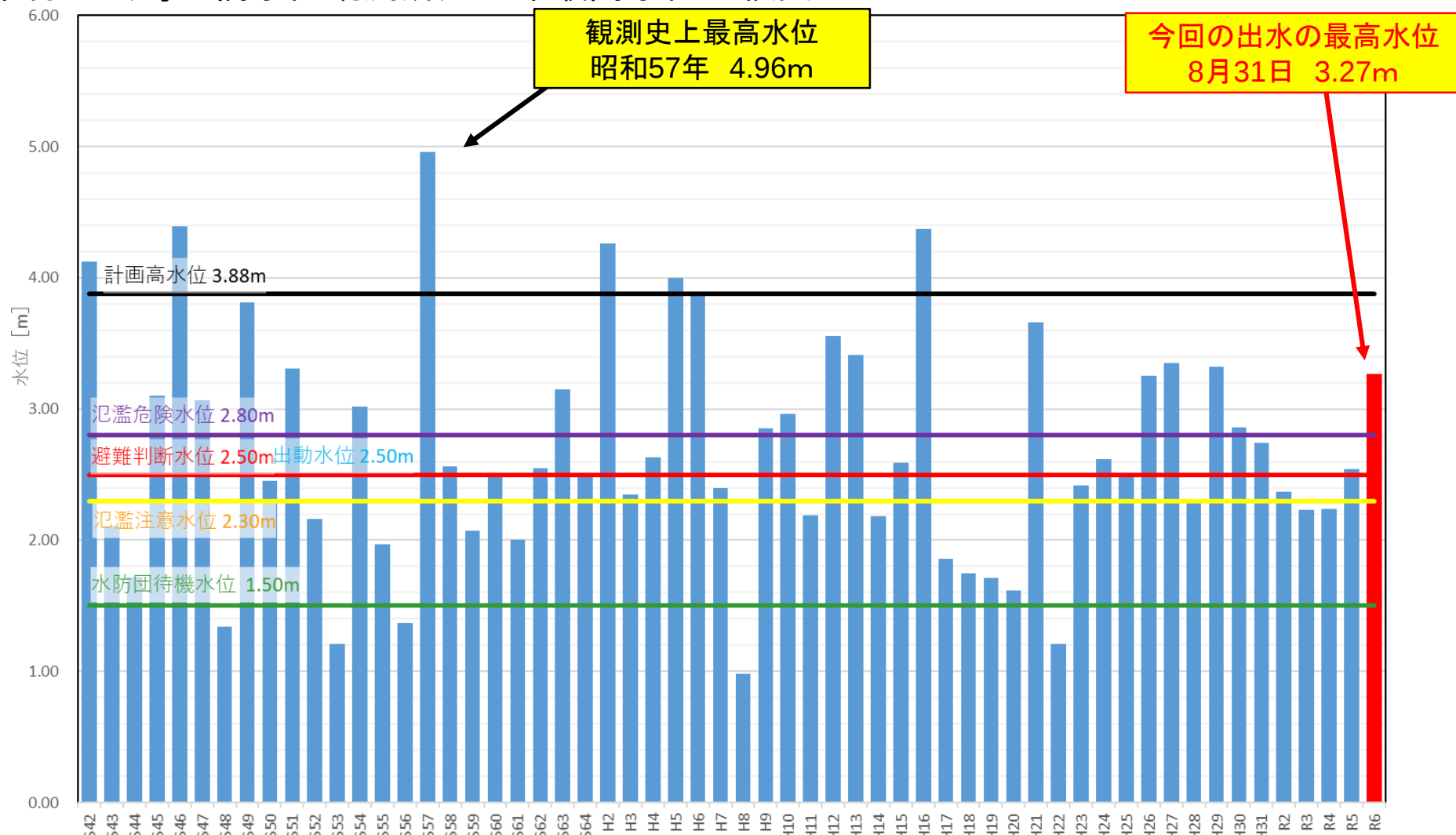
雲出川（雲出橋水位観測所）の年最高水位比較図



※本資料の令和6年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(島田橋水位観測所:雲出川水系中村川)

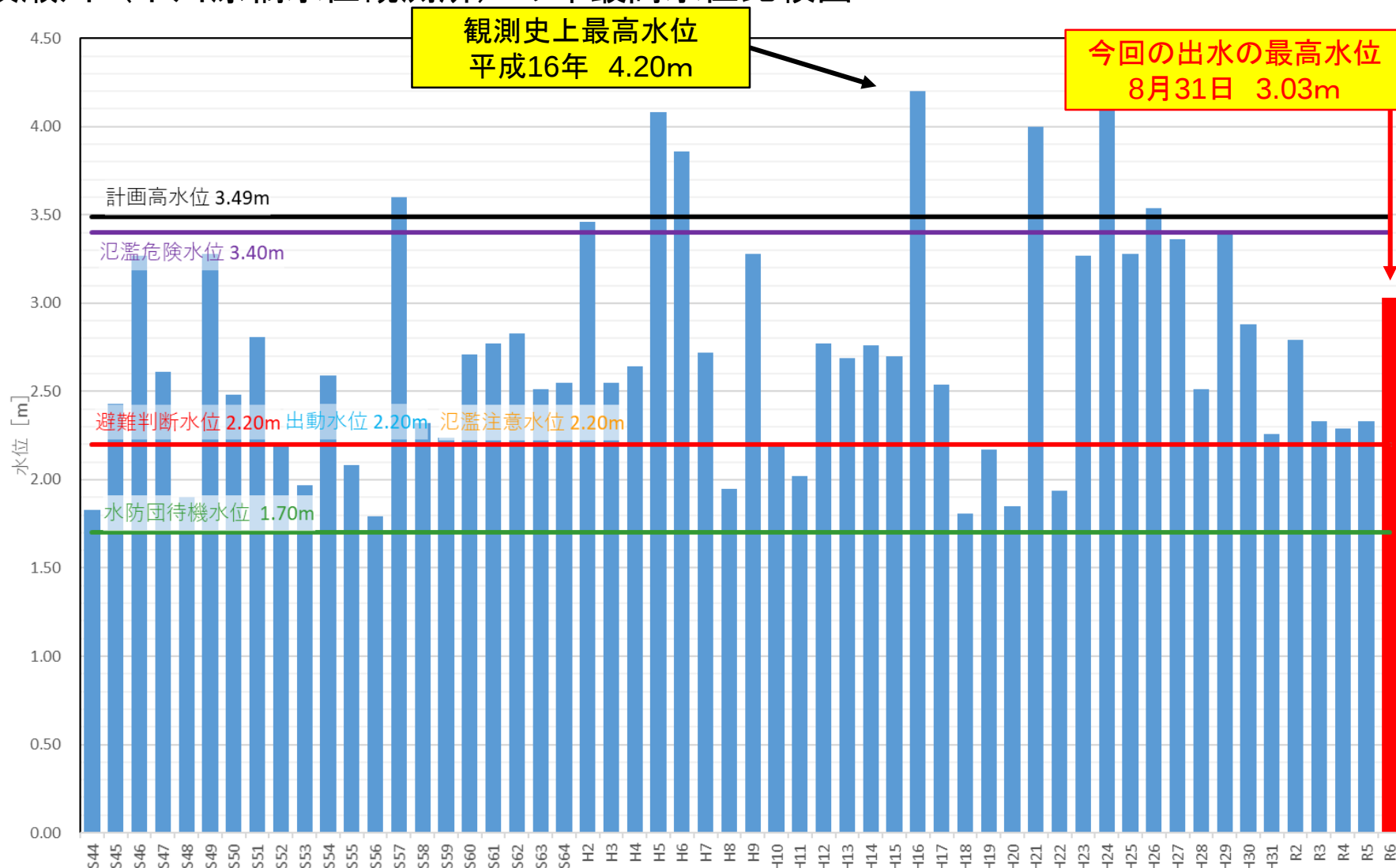
中村川（島田橋水位観測所）の年最高水位比較図



※本資料の令和6年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(下川原橋水位観測所:雲出川水系波瀬川)

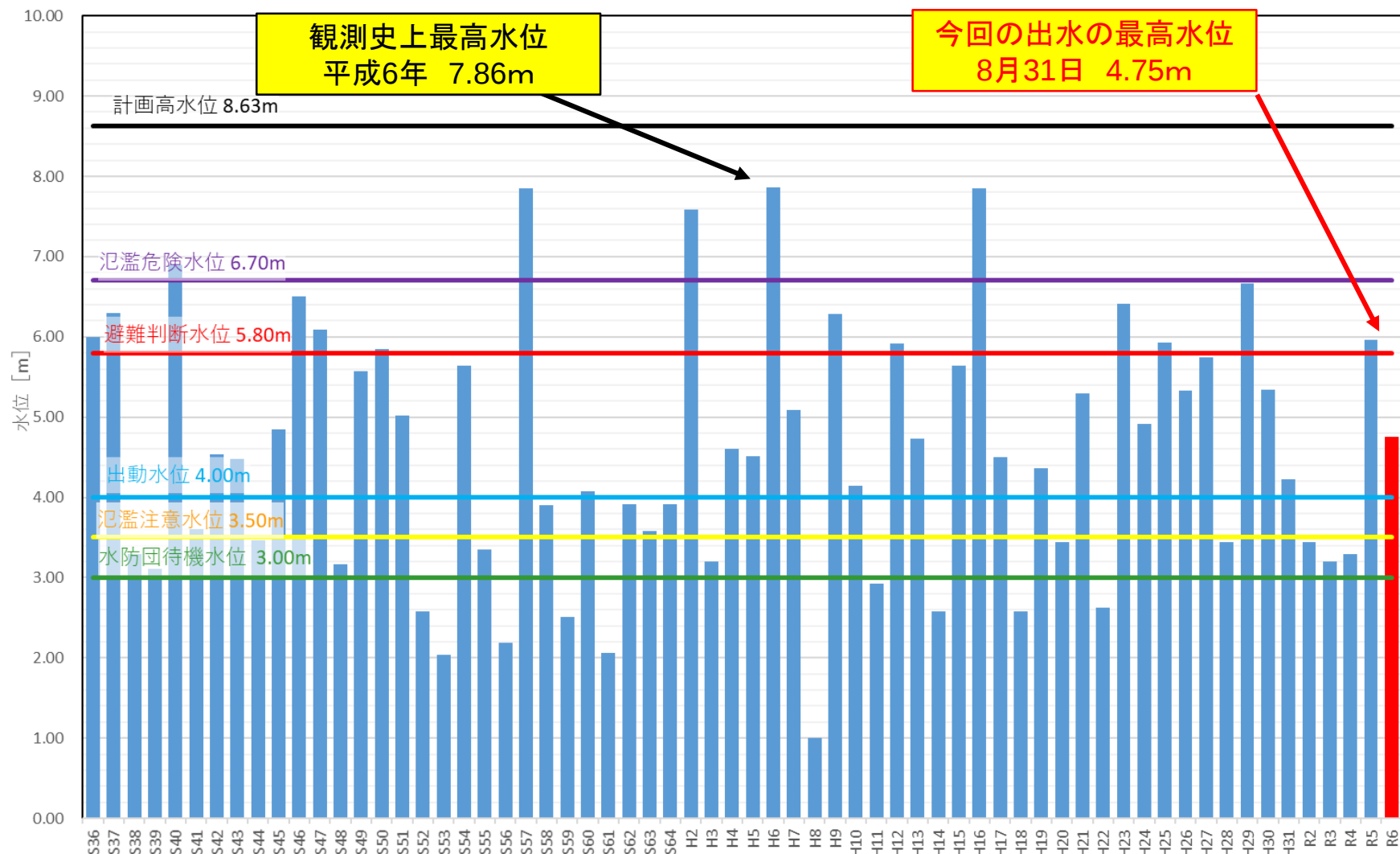
波瀬川（下川原橋水位観測所）の年最高水位比較図



※本資料の令和6年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(両郡水位観測所:櫛田川水系櫛田川)

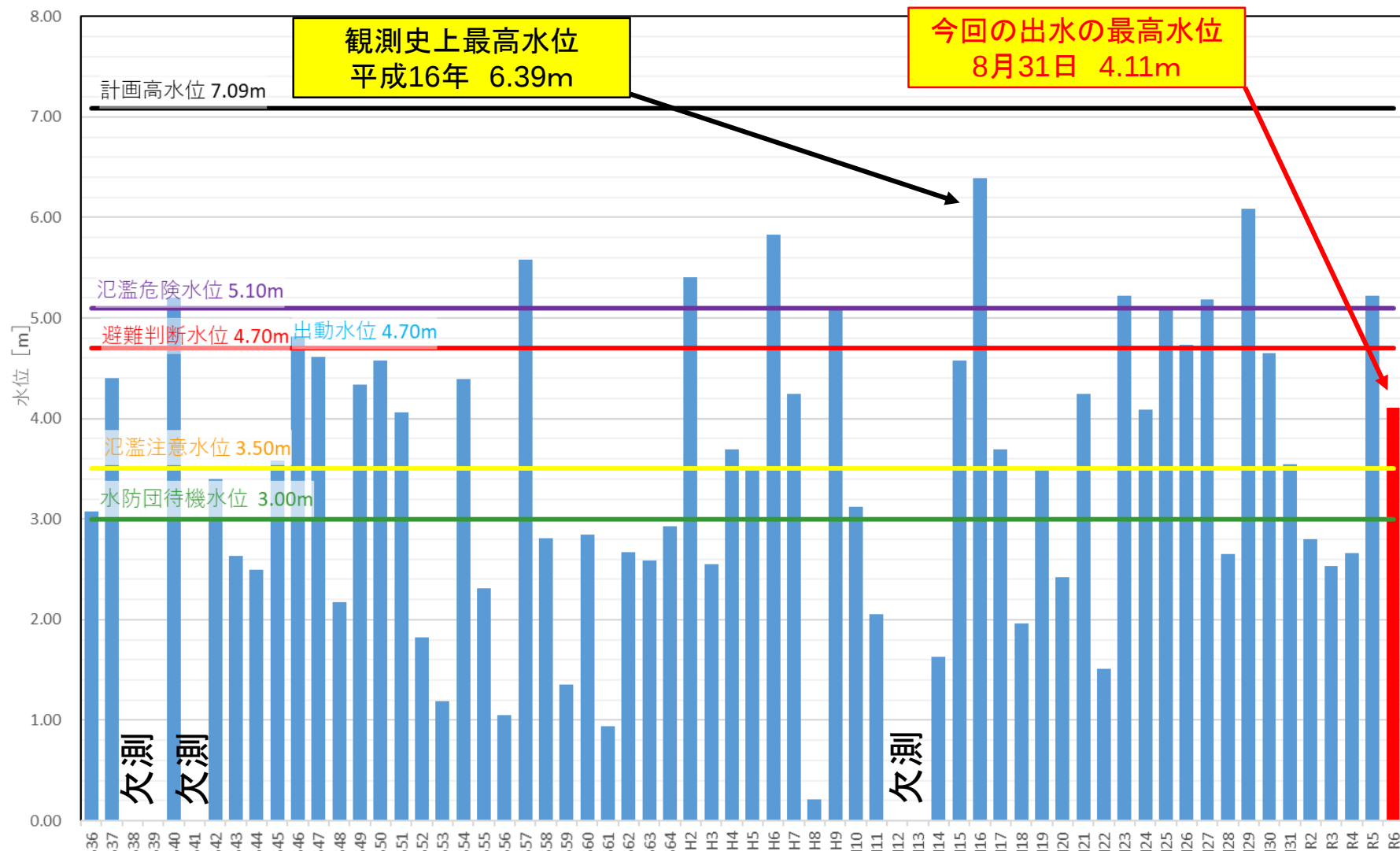
櫛田川（両郡水位観測所）の年最高水位比較図



※本資料の令和6年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(櫛田橋水位観測所:櫛田川水系櫛田川)

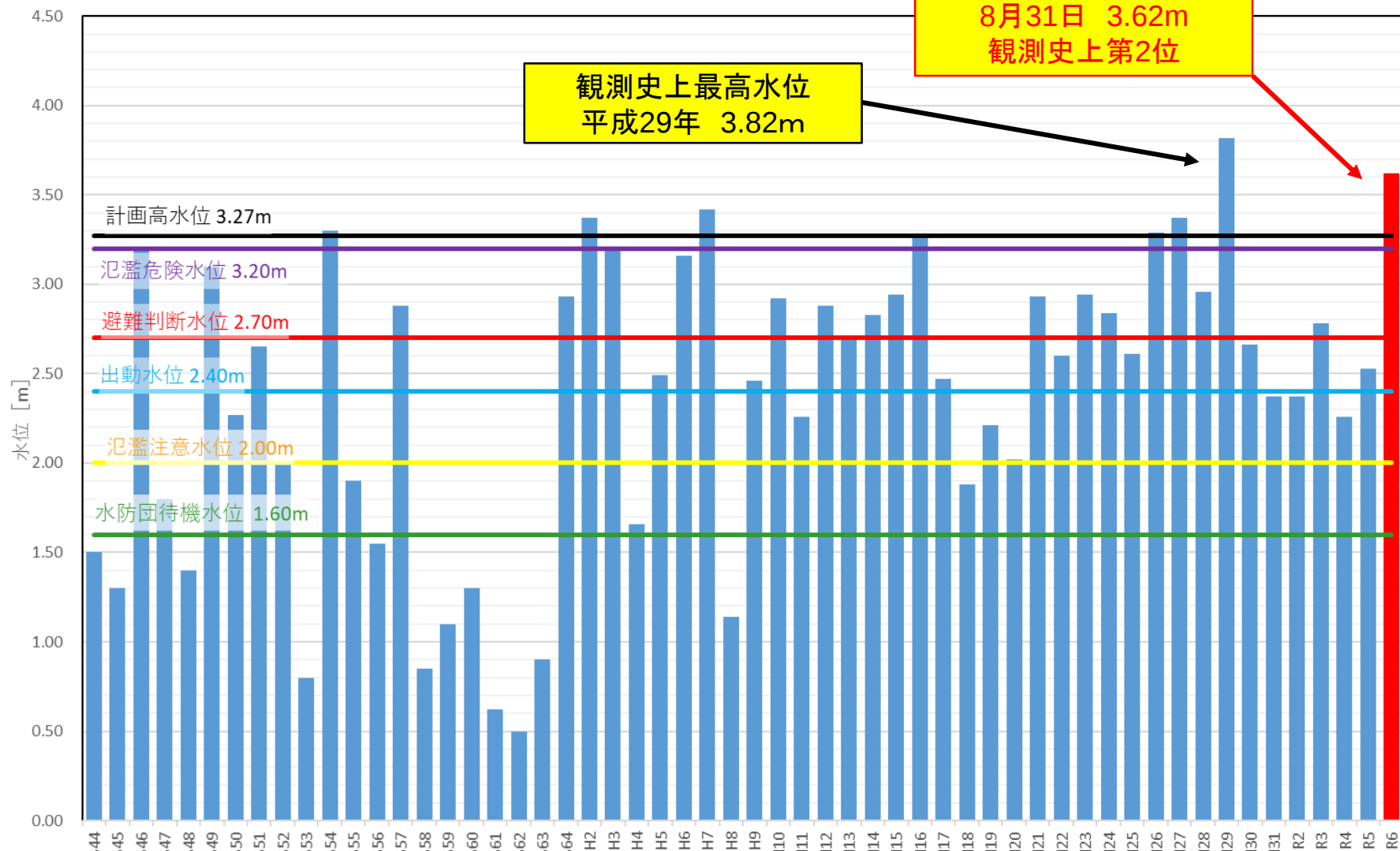
櫛田川（櫛田橋水位観測所）の年最高水位比較図



※本資料の令和6年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(西山橋水位観測所:櫛田川水系佐奈川)

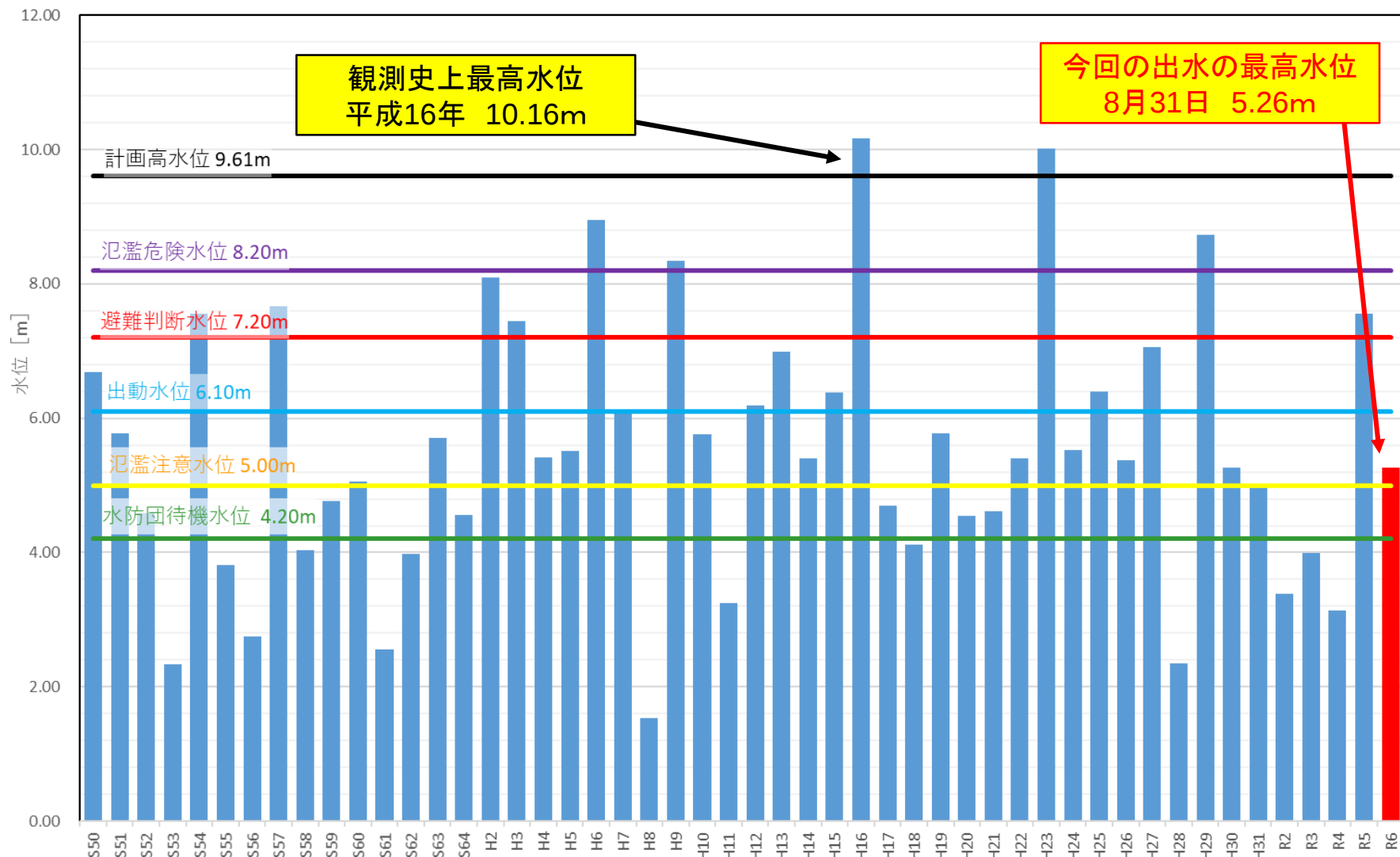
佐奈川（西山橋水位観測所）の年最高水位比較図



※本資料の令和6年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(岩出水位観測所:宮川水系宮川)

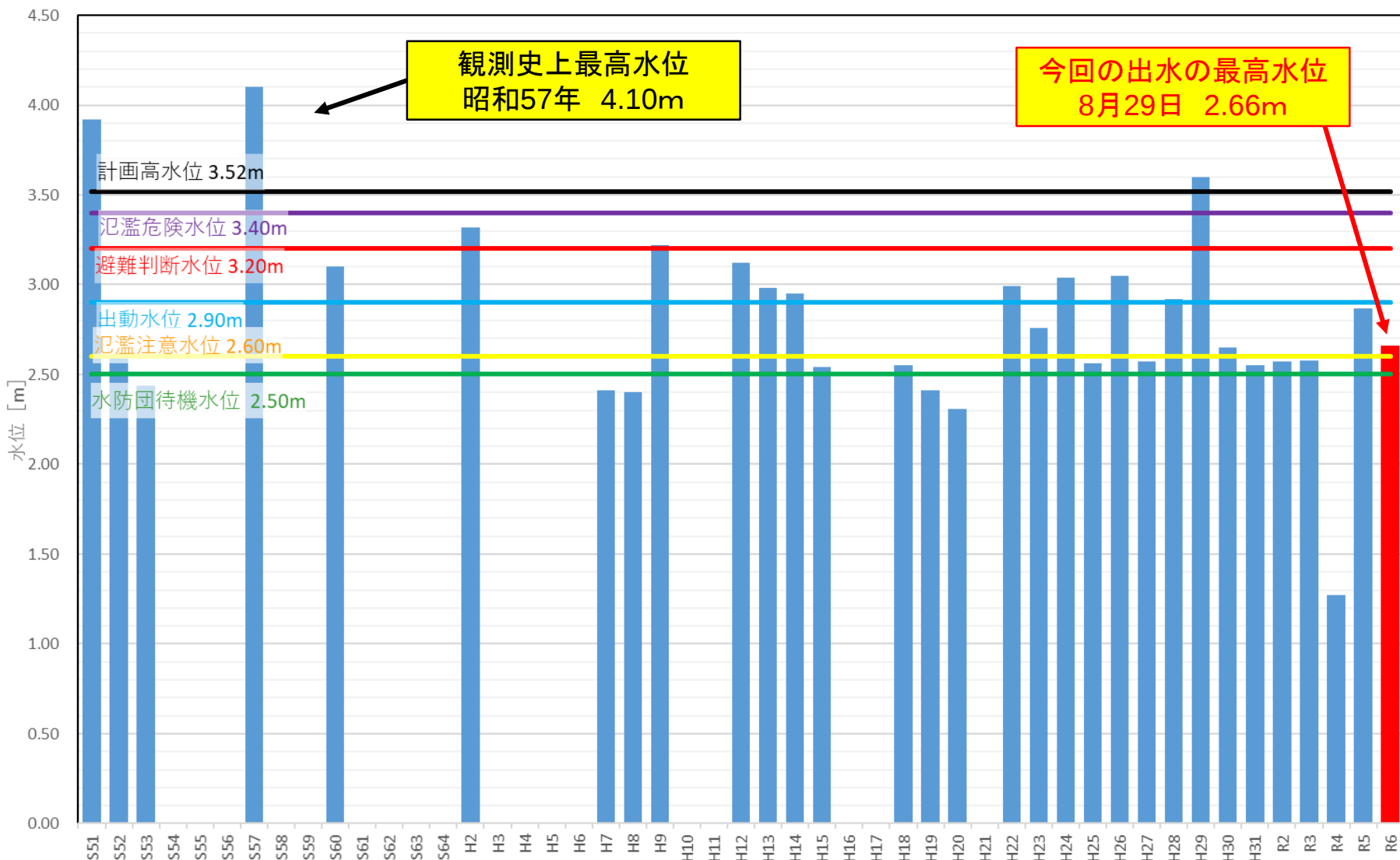
宮川（岩出水位観測所）の年最高水位比較図



※本資料の令和6年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(岡本水位観測所:宮川水系勢田川)

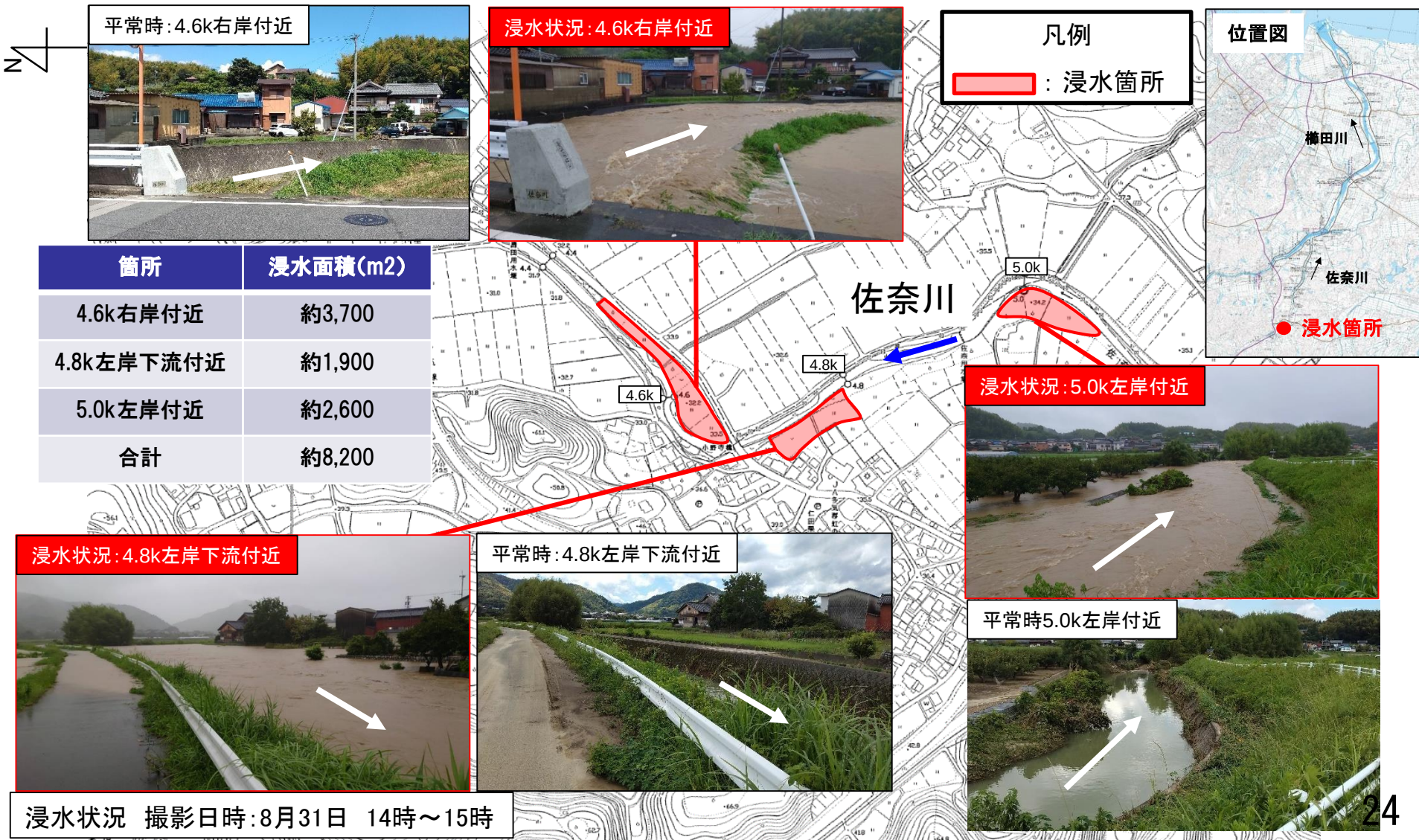
勢田川（岡本水位観測所）の年最高水位比較図



※本資料の令和6年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

櫛田川水系佐奈川の8月31日の浸水状況

- 令和6年8月31日に櫛田川水系佐奈川で櫛田川合流部上流4.6～5.0k地点の左右岸で溢水し、浸水被害が発生しました。(家屋被害無し)



今回出水
浸水範囲

西山橋水位観測所

佐奈川

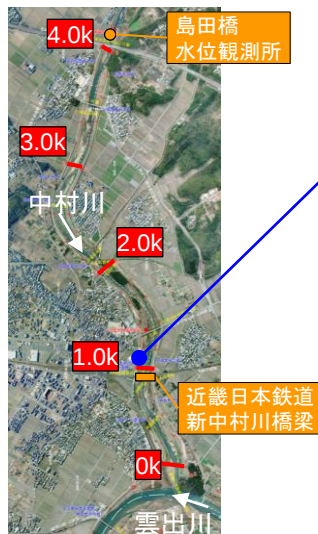
浸水戸数 0戸
浸水面積 約8,200㎡

25

雲出川水系 中村川の事業効果

- 雲出川水系中村川では、令和6年8月台風第10号に伴う大雨により、宇気郷雨量観測所において**総雨量452mm(時間最大雨量55mm)**を観測、島田橋水位観測所において**氾濫危険水位(2.80m)を超過する3.27mの水位**を観測しました。
- これまでに雲出川特定構造物改築事業(近畿日本鉄道新中村川橋梁)【平成14年～平成24年】や防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策【平成30年～令和2年】及び防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策【令和3年～実施中】による河道掘削等を実施したことで、1.2k地点では**実施前に比べ約0.8m水位が低下**しました。(推定値)

位置図



今回の出水状況

(近鉄橋梁付近(1.0k付近))



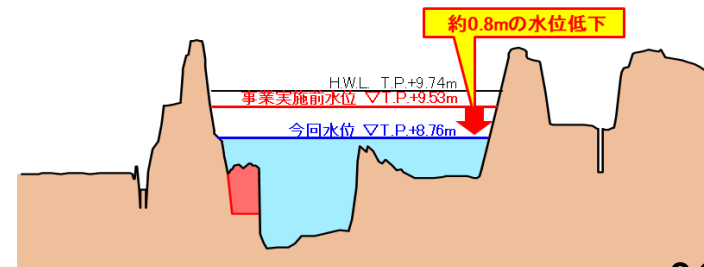
事業実施箇所(近鉄橋梁の改築、頭首工撤去、河道掘削等)



事業効果

※記載の数値等は速報値であり、今後変更の可能性があります。

中村川1.2k



三重四川におけるダムの対応

- 君ヶ野ダムでは下流河川の水量を減らして水位を下げるため、事前放流を行い、洪水の一部を貯める洪水調節を実施しました。
- 蓮ダムでは、櫛田川の水位上昇を抑制するため、ダムからの放流量を少なくし、ダムに貯留する特別防災操作を実施しました。

■事前放流を実施したダム

水系名	河川名	ダム名	区分
雲出川水系	八手俣川	君ヶ野ダム	治水等多目的ダム※

■洪水調節を実施したダム

水系名	河川名	ダム名	区分
雲出川水系	八手俣川	君ヶ野ダム	治水等多目的ダム※

■特別防災操作を実施したダム

水系名	河川名	ダム名	区分
櫛田川水系	蓮川	蓮ダム	治水等多目的ダム※

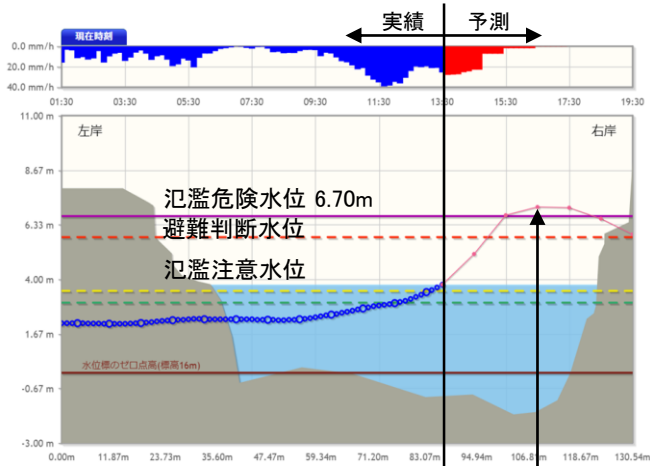
※ 治水等多目的ダム：直轄・水資源機構(特定施設)・補助ダム

【速報】 蓮ダムにおける特別防災操作（令和6年台風第10号）

- 令和6年8月台風第10号による大雨の影響により、櫛田川下流部の水位は、上流から下流まで連続して洪水危険度を把握することが可能な洪水予測技術「水害リスクライン」において、氾濫危険水位（両郡水位観測所：6.70m）を超過し、最高水位7.09m（8/31 16:30）に達する予測となりました。
- 櫛田川上流に位置する蓮ダムでは、流入量が少なく洪水調節を行うような状況ではありませんでしたが、櫛田川下流の水位上昇を抑制するため、ダムからの放流量を少なくし、ダムに洪水を貯留する「特別防災操作（8/31 14:30～16:30）」を実施し、蓮ダムからの放流量を最大毎秒約80m³減少させました。

①「水害リスクライン」による水位予測

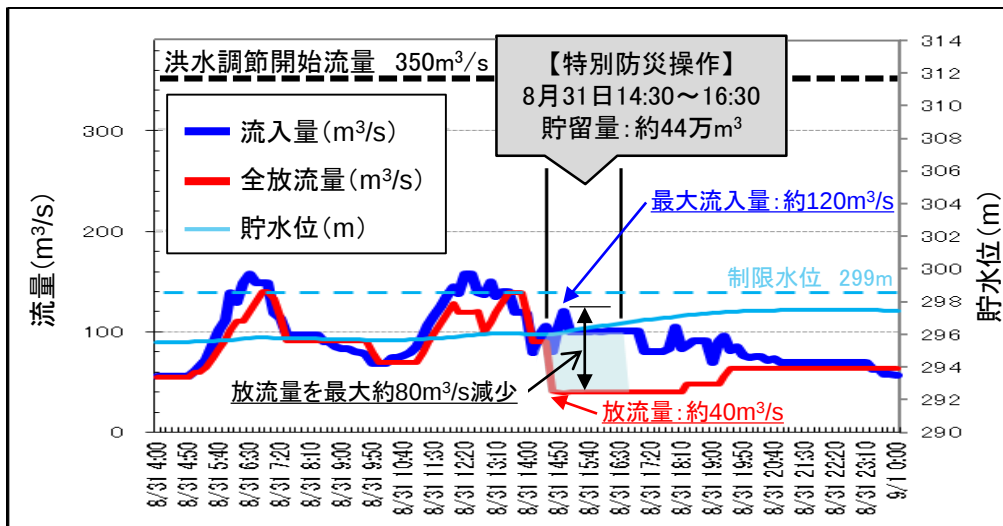
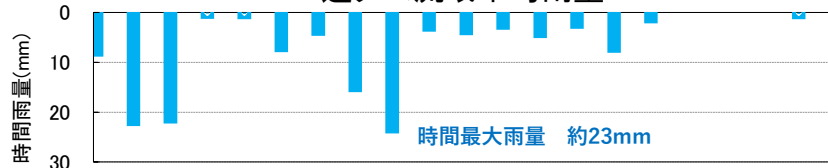
両郡水位観測所（多気町）
8月31日 13時30分時点予測



8月31日15時30分に氾濫危険水位を超過し、
16時30分に最高水位7.09mに達する水位予測

②蓮ダムの「特別防災操作」

蓮ダム流域平均雨量



(注1)この数値は速報として取り急ぎまとめたもので後日一部訂正や追加をすることがあります

出水時の対応状況について

○ 令和6年8月29日～30日に鈴鹿川水系、雲出川水系、櫛田川水系、宮川水系において、被害箇所等の早期発見や被害拡大防止を目的に出水時巡視を実施しました。

＜出水時巡視＞

河川名		1回目		2回目		3回目		巡視業者
		巡視開始	巡視終了	巡視開始	巡視終了	巡視開始	巡視終了	
鈴鹿川水系	内部川	8/29 13:50	8/29 15:30	8/29 16:00	8/29 17:10 (現時点で異常無し)			朝日土木株式会社
	安楽川	8/29 13:50	8/29 15:30	8/29 16:00	8/29 17:10 (現時点で異常無し)			
	鈴鹿川	8/29 16:00	8/29 17:10 (現時点で異常無し)					
雲出川水系	波瀬川	8/29 11:15	8/29 13:40	8/29 16:00	8/29 17:15 (現時点で異常無し)			中村土建株式会社
	中村川	8/29 11:15	8/29 13:40	8/29 16:00	8/29 17:15 (現時点で異常無し)			
櫛田川水系	佐奈川	8/29 8:50	8/29 9:45	8/29 14:05	8/29 14:30	8/30 9:30	8/30 10:40 (現時点で異常無し)	8/29一般社団法人パブリックサービス 8/30 三重河川国道事務所
宮川水系	勢田川	8/30 6:20	8/30 7:40 (現時点で異常無し)					三重河川国道事務所



鈴鹿川右岸9.8k 付近



内部川左岸1.8k 付近



波瀬川左岸0.0k 付近

出水時の対応状況について

○ 令和6年8月31日～9月1日に雲出川水系、櫛田川水系、宮川水系において、被害箇所等の早期発見や被害拡大防止を目的に出水時巡視を実施しました。

＜出水時巡視＞

河川名		1回目		2回目		巡視業者
		巡視開始	巡視終了	巡視開始	巡視終了	
雲出川水系	波瀬川	8/31 13:45	8/31 15:45 (現時点で異常無し)			中村土建株式会社
	中村川	8/31 13:45	8/31 15:45 (現時点で異常無し)			
	雲出川	8/31 15:30	8/31 16:50 (現時点で異常無し)			
櫛田川水系	佐奈川	8/31 13:40	8/31 15:20	9/1 8:45	9/1 11:10 (現時点で異常無し)	丸亀産業株式会社
	櫛田川 (上流部)	8/31 15:30	8/31 16:30 (現時点で異常無し)			
	櫛田川 (下流部)	8/31 15:10	8/31 16:10 (現時点で異常無し)			
宮川水系	宮川	9/1 8:30	9/1 10:35 (現時点で異常無し)			海老屋・西山経常建設 共同企業体



中村川左岸3.6k 付近



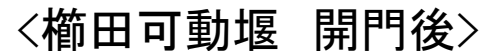
佐奈川左岸4.4k 付近



宮川左岸6.6k 付近

○ 櫛田川水系において河川管理施設を稼働。

水系	河川名	施設名	開放期間
櫛田川水系	櫛田川	櫛田可動堰	8/29 13:05 ~ 9/2 13:05



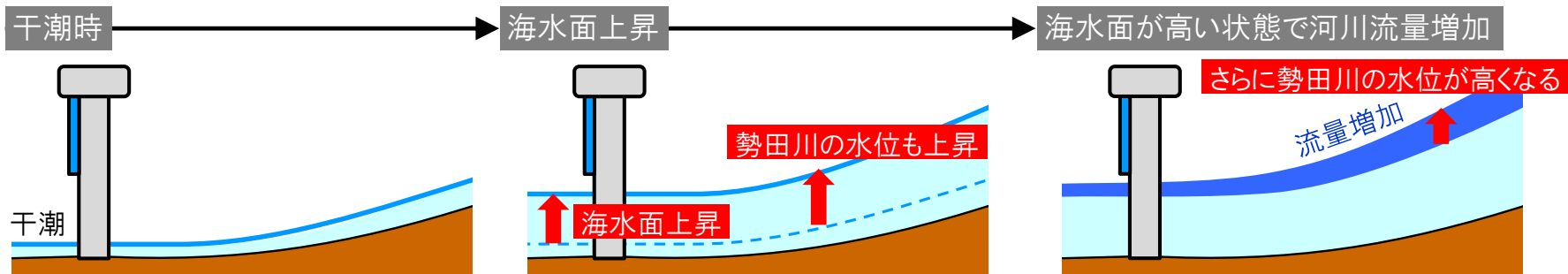
防災・減災に向けた取り組み(勢田川排水機場)

○H29年の洪水で浸水被害が発生した勢田川では、浸水被害の軽減を図ることを目的に、8月30日9時より勢田川排水機場による水位低下対策を試行しました。

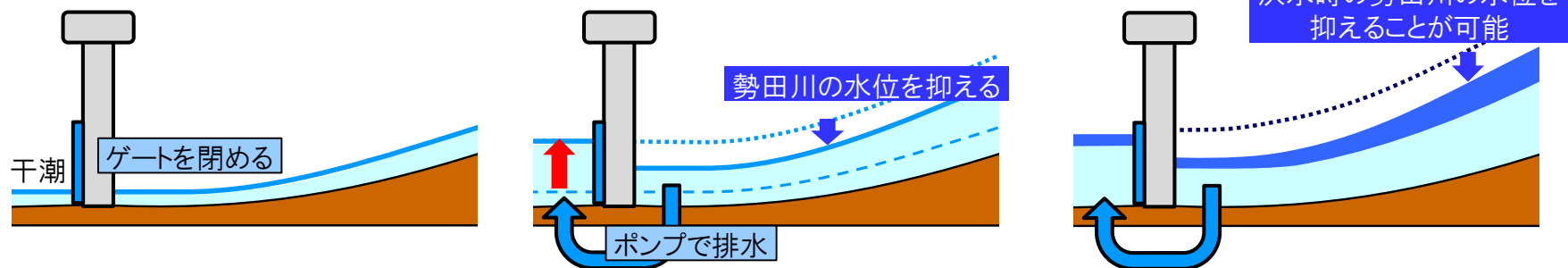
今回実施した水位低下対策の狙い(イメージ)

- 潮位が低い干潮時に勢田川防潮水門のゲートを閉め、勢田川排水機場のポンプにより放流することで、通常時より勢田川の水位を抑え、台風を迎えます。

通常

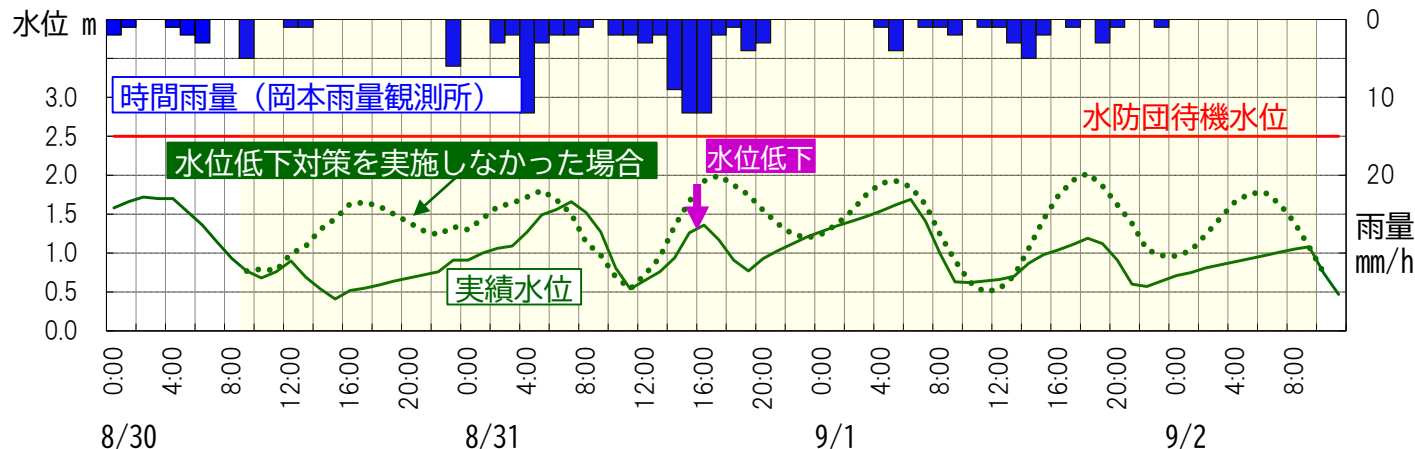


水位低下対策の試行



防災・減災に向けた取り組み(勢田川排水機場)

- 今回の対策により、勢田川の水位を約3日間、継続的に低い状態に保ちました。
- 今出水では、幸いにも勢田川に強い雨域がかかりませんでしたが、満潮時に河川流量が増加した際、効果を発現する本取り組みを、引き続き実施していきます。



<水位低下対策イメージ>



<河川管理施設の稼働状況>

水系	河川名	施設名	稼働期間
宮川水系	勢田川	勢田川防潮水門 勢田川排水機場	ゲート全閉 8/30 9:00 ~ 9/2 10:00 勢田川の水位に応じて排水機場を稼働

洪水予報、水防警報の発表状況(8月29日)

<水位到達情報の発表状況>

河川	基準観測所	号数	警戒種別	発表日時	
佐奈川	西山橋	1	氾濫注意	8月29日	8:50
波瀬川	下川原橋	1	氾濫警戒	8月29日	9:00
中村川	島田橋	1	氾濫注意	8月29日	9:20
中村川	島田橋	2	氾濫警戒	8月29日	9:40
中村川	島田橋	3	氾濫危険	8月29日	12:40
安楽川	川崎	1	氾濫注意	8月29日	13:20
内部川	河原田	1	氾濫警戒	8月29日	14:00
勢田川	岡本	1	氾濫注意	8月29日	14:30
安楽川	川崎	2	氾濫注意情報解除	8月29日	17:10
波瀬川	下川原橋	2	氾濫注意情報解除	8月29日	17:20
中村川	島田橋	4	氾濫注意情報解除	8月29日	18:00
佐奈川	西山橋	2	氾濫注意情報解除	8月29日	18:10
内部川	河原田	2	氾濫注意情報解除	8月29日	18:30
勢田川	岡本	2	氾濫注意情報解除	8月29日	19:20

<水防警報の発表状況>

河川	基準観測所	号数	警戒種別	発表日時	
佐奈川	西山橋	1	準備	8月29日	8:50
佐奈川	西山橋	2	出動	8月29日	9:00
波瀬川	下川原橋	1	出動	8月29日	9:10
中村川	島田橋	1	準備	8月29日	9:20
中村川	島田橋	2	出動	8月29日	9:40
中村川	島田橋	3	情報	8月29日	12:40
安楽川	川崎	1	準備	8月29日	13:20
内部川	河原田	1	出動	8月29日	14:00
安楽川	川崎	2	解除	8月29日	17:10
波瀬川	下川原橋	2	解除	8月29日	17:20
中村川	島田橋	4	解除	8月29日	18:00
内部川	河原田	2	解除	8月29日	18:30

洪水予報、水防警報の発表状況(8月31日)

<洪水予報・水位到達情報の発表状況>

河川	基準観測所	号数	警戒種別	発表日時	
佐奈川	西山橋	1	氾濫注意	8月31日	12:20
佐奈川	西山橋	2	氾濫警戒	8月31日	12:30
波瀬川	下川原橋	1	氾濫警戒	8月31日	12:30
佐奈川	西山橋	3	氾濫危険	8月31日	12:50
佐奈川	西山橋	4	氾濫危険	8月31日	13:00
中村川	島田橋	1	氾濫注意	8月31日	13:00
中村川	島田橋	2	氾濫警戒	8月31日	13:10
櫛田川	両郡	1	氾濫注意	8月31日	13:40
中村川	島田橋	3	氾濫危険	8月31日	13:40
佐奈川	西山橋	5	氾濫発生	8月31日	13:50
櫛田川	櫛田橋	2	氾濫警戒	8月31日	14:40
雲出川	雲出橋	1	氾濫注意	8月31日	15:10
佐奈川	西山橋	6	氾濫注意	8月31日	16:10
雲出川	雲出橋	2	氾濫注意情報解除	8月31日	17:10
中村川	島田橋	4	氾濫注意	8月31日	17:20
櫛田川	櫛田橋	3	氾濫警戒情報解除	8月31日	17:30
波瀬川	下川原橋	2	氾濫注意情報解除	8月31日	18:00
櫛田川	櫛田橋	4	氾濫注意	8月31日	18:50
中村川	島田橋	5	氾濫注意情報解除	8月31日	19:20
佐奈川	西山橋	7	氾濫注意情報解除	8月31日	20:20
櫛田川	両郡	5	氾濫注意情報解除	8月31日	20:30

<水防警報の発表状況>

河川	基準観測所	号数	警戒種別	発表日時	
佐奈川	西山橋	1	出動	8月31日	12:20
佐奈川	西山橋	2	情報	8月31日	12:30
波瀬川	下川原橋	1	出動	8月31日	12:30
佐奈川	西山橋	3	情報	8月31日	12:50
佐奈川	西山橋	4	情報	8月31日	13:00
中村川	島田橋	1	準備	8月31日	13:00
中村川	島田橋	2	出動	8月31日	13:10
櫛田川	両郡	1	準備	8月31日	13:20
中村川	島田橋	3	情報	8月31日	13:40
佐奈川	西山橋	5	情報	8月31日	13:50
櫛田川	両郡	2	出動	8月31日	14:00
櫛田川	櫛田橋	1	準備	8月31日	14:40
雲出川	雲出橋	1	準備	8月31日	15:00
雲出川	雲出橋	2	解除	8月31日	17:00
波瀬川	下川原橋	2	解除	8月31日	17:50
櫛田川	櫛田橋	2	解除	8月31日	18:50
中村川	島田橋	4	解除	8月31日	19:20
佐奈川	西山橋	6	解除	8月31日	20:20
櫛田川	両郡	3	解除	8月31日	20:30

36

堀坂川(三重県管理)の被災に対する支援

- 令和6年8月31日15時頃、三重県管理の堀坂川(三渡川水系)において、堤防が洗堀する被害が発生しました。
- 翌9月1日夜にもまとまった降雨予測があったため、三重県からの応援要請を受け国土交通省では地元建設会社と連携し応急復旧資材(袋詰め玉石工)の調達、現場搬入を同日16時まで完了しました。
- 9月2日18時に三重県は応急復旧を完了し、周辺地域(松阪市田牧町^{たいらちょう})への避難指示は解除されました。

位置図



国土交通省による早期復旧に向けた支援(応急復旧資材の搬入)



袋詰め玉石製作



運搬

被災状況

堤防洗堀(延長約30m、高さ約3m)



復旧状況



復旧完了37

中部地方整備局 三重河川国道事務所

〒514-8502 津市広明町297

TEL : 059-229-2211(代)

<https://www.cbr.mlit.go.jp/mie/index.html>

中部地方整備局 蓮ダム管理所

〒515-1615 松阪市飯高町森1810-11

TEL : 0598-45-0371(代)

<https://www.cbr.mlit.go.jp/hachisu/>

雲出川水系中村川・波瀬川・赤川 流域水害対策計画策定について

- ・中村川・波瀾川・赤川沿川には、伊勢中川駅や津市一志総合支所などの重要施設や住宅街が点在
- ・雲出川本川に、中村川・波瀾川・赤川が合流し本川からのバックウォーターの影響を受ける
- ・合流箇所には無堤部があり、上下流・本支川・左右岸バランスを考慮した段階整備と住まい方の工夫が必要

H21.10洪水
雲出川・中村川
・波瀬川・赤川
合流部付近の
浸水状況



中村川・波瀬川
・赤川沿川
自治体と国土交
通省・三重県等
との準備会
(R5.1.23)



ハード整備の加速化

流域治水整備事業等の活用

- 流域水害対策計画を早急に策定し、位置付けられたメニューについて、整備を加速化
 - ・河道掘削、堤防整備
 - ・雲出川本川の無堤部嵩上げ、水門・樋門整備等
 - ・バックウォーターの影響を小さくするための遊水地整備等

大規模雨水処理施設整備事業等の活用

- 雨水管理総合計画に基づき、内水対策のための雨水排水施設の整備を検討



雲出川・中村川・波瀬川・赤川合流部付近

流出抑制対策の推進

開発等に伴う流出増への対策の義務化
(雨水浸透阻害行為の許可)

- 流出雨水量を現在よりも増加させる行為への
対策を義務付け

雨水貯留浸透施設に対する補助率嵩上げ・減税
(補助率1/3→1/2,固定資産税1/6~1/2に軽減)

- 流出雨水量を現在よりも減少させるための雨水貯留浸透施設の整備等を促進

水害リスクを踏まえた土地利用

リスクの低い地域への居住誘導・住まい方の工夫
(浸水被害防止区域の指定を検討)

- 浸水被害が頻発し、住民等の生命・身体に著しい危害が生じるおそれのある土地を「浸水被害防止区域」に指定することを検討

**特定都市河川流域全体の取組により、
安全度を早期に向上させる**

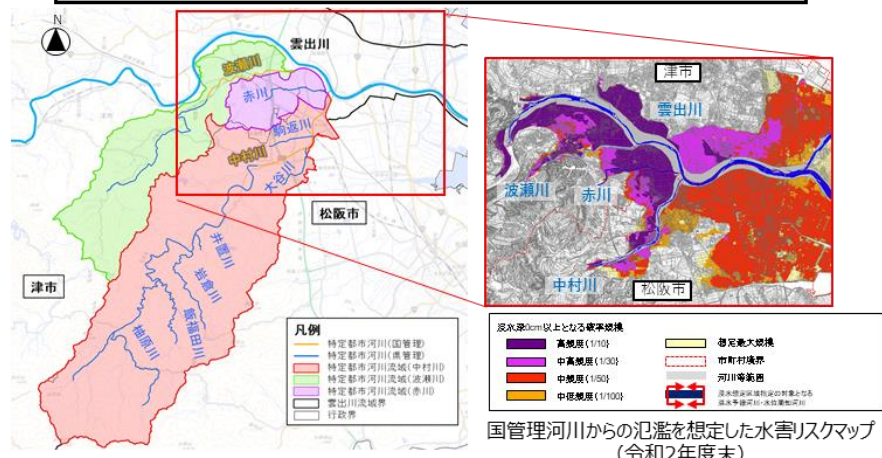
40

河川区間：雲出川水系中村川等の計9河川

※国土交通大臣による指定：中村川、波瀬川等（計8河川）
三重県知事による指定：赤川（1河川）

流域面積：約124km²（津市の一部、松阪市の一部）

※中村川流域：約85km²、波瀬川流域：約31km²、赤川流域：約8km²



○ 雲出川水系中村川・波瀬川・赤川の特定都市河川の指定に伴い、河川管理者・下水道管理者及び流域自治体、地域の防災リーダーなどから構成する流域水害対策協議会を組織し、流域治水の計画的・効果的な実践に向けた議論を行い、あらゆる関係者の協働による総合的な浸水被害対策総合的な浸水被害対策として「流域水害対策計画」を策定した。(令和6年6月4日策定)

①計画区域

位置図

三重県

雲出川

波瀬川

赤川

中村川

大井川

岩倉川

原田川

松阪市

津市

凡例

指定を行おうとする河川(国管理)

指定を行おうとする河川(県管理)

指定を行おうとする河川の流域(中村川)

指定を行おうとする河川の流域(波瀬川)

指定を行おうとする河川の流域(赤川)

雲出川流域界

行政界

③都市浸水想定

● 現況及び対策実施後において、計画対象降雨が生じた場合に、外水・内水氾濫により想定される浸水区域をシミュレーションにより推定。

都市浸水想定(現況時点で計画対象降雨が発生)

都市浸水想定(整備後次点で計画対象降雨が発生)

※2 都市浸水想定で床上浸水が見込まれる土地を基本とし、住民等の生命・身体を保護するため、浸水被害防止区域(開発規制・建築規制の措置)の指定を検討。

※1 整備後も浸水が想定される区域を基本とし、雨水等を一時的に貯留する効用がある土地を可能な限り保全するため、貯留機能保全区域の指定を検討

②計画期間・計画対象降雨

● 河川整備計画(国、県)、公共下水道事業計画、まちづくりの計画期間を踏まえ、概ね30年とした。

● 本計画の目標とする計画対象降雨は、過去に流域に大きな被害をもたらした昭和57年8月洪水とした。

大井川

波瀬川

中村川

昭和57年8月洪水の浸水区域

④対策内容

ハード整備の加速化(概ね30年の計画)

【中村川】(国土交通省)

河道掘削、樹木伐開、護岸整備、堤防強化

横断工作物の改築・補強

【波瀬川】(国土交通省)

河道掘削、護岸整備

【雲出川】(国土交通省)

河道掘削、樹木伐開

赤川・其村無堤部対策、牧・小戸木遊水機能の確保

【赤川】(三重県)

河道掘削、掘削、堤防嵩上げ、護岸整備、橋梁架替

【波瀬川排水区】(津市)

ポンプ場、調整池整備、水路改修

【中川西部排水区】(松阪市)

ポンプ場、調整池整備、管渠整備

流出抑制対策の推進

■ 流域のあらゆる関係者の協力による付加的な雨水の貯留や浸透に係る取組(以下)の一層の促進を図る

雨水貯留施設

ため池の治水利用

水田貯留

既存の防災調整池等や保水・遊水機能を有する土地の保全

水田貯留の実施例

水害リスクを踏まえた土地利用

■ 貯留機能保全区域(※1)又は浸水被害防止区域(※2)の指定に向けた検討

対策による分担イメージ

本計画に定める特定都市河川の整備目標

河川整備計画(国・県)

河川整備計画(特定都市河川)

流域での河川対策・土地利用規制

計画を上回る浸透に努めて貯留機能を向上させる

浸水被害の拡大防止のための措置

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策

河川整備

下水道整備

流域での河川対策(雨水貯留浸透施設の整備、ため池の治水利用、水田の貯留機能向上等)

②被害対象を減少させるための対策

土地利用規制(浸水被害防止区域・貯留機能保全区域の指定等)

③被害の軽減、早期復旧、復興の対策

浸水被害の拡大防止のための措置

○令和6年6月4日、第3回 雲出川水系中村川・波瀬川・赤川流域水害対策協議会を開催
○パブリックコメントにていただいたご意見を踏まえ、流域水害対策計画（案）について議論し、協議が整ったことから、流域水害対策計画を策定しました
○直轄河川としては全国で4番目、中部地整管内では法改正後初めての流域水害対策計画の策定となりました

<協議会開催概要>

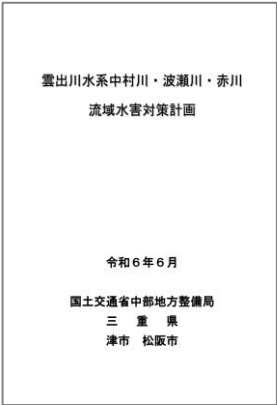
【開催日】
令和6年6月4日（火） 16：00 - 17：00
【開催場所】
三重河川国道事務所 災害対策室
（WEB会議併用）
【主な議事】
雲出川水系中村川・波瀬川・赤川
流域水害対策計画（案）について

<主なご発言>

- 本計画では、中村川沿川における水田貯留の実施など、多くの点で合意形成が取れ、大きな進歩。計画策定は、ゴールでなくスタート。水害に強い地域にしたい ため「流域治水 by All」の精神で取り組んでいきたい（中部地整局長）
- 本計画は、流域治水を推進し雲出川水系全体の整備を進めるチャンス。波瀬川排水区の内水対策をはじめ、流域治水を推進していくことを約束する（津市長）
- 伊勢中川駅周辺では都市開発のニーズが多く、まちづくりと災害リスク回避の両立が重要。区域指定は住民と意見交換を重ね慎重に検討していく（松阪市長）
- 大谷川下流部で水田貯留を開始した。今後は大谷川流域全体に広げていきたい。大谷川の土砂堆積・樹木繁茂が放置されているため、対策を実施して欲しい。（豊地まちづくり協議会会長）
- 国土強靱化の5か年加速化対策で整備が大きく進んだ。赤川の整備に加え、本日もご意見いただいた大谷川についても事業を進めていきたい。土地利用規制は、今後の対応するべき課題。まちづくりを含めて、地元住民の意見を聞きながら、丁寧に進めていきたい。（三重県部長）
- 事業を進めるうえでいくつかの課題も残されており、現地調査をおこない、現地状況を踏まえ具体的な対策を協議しながら適切に進めてほしい（松尾座長）



協議会
開催状況



計画策定後 河川管理者等にて

気候変動を踏まえた計画へ見直し

気候変動を踏まえた計画へ見直し

○治水計画を、「過去の降雨実績に基づく計画」から
「気候変動による降雨量の増加などを考慮した計画」に見直し

これまで

洪水、内水氾濫、土砂災害、高潮・高波等を防御する計画は、
これまで、過去の降雨、潮位などに基づいて作成してきた。

しかし、
気候変動の影響による降雨量の増大、海面水位の上昇などを考慮すると
現在の計画の整備完了時点では、実質的な安全度が確保できないおそれ

気候変動による降雨量の増加※、潮位の上昇などを考慮したものに計画を見直し

※ 世界の平均気温の上昇を2度に抑えるシナリオ（パリ協定が目標としているもの）

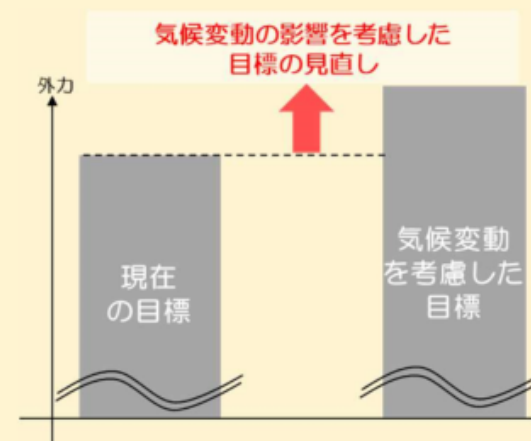
気候変動 シナリオ	降雨量 (河川整備の基本とする洪水規模(1/100等))
2℃上昇相当	約1.1倍



降雨量が約1.1倍となった場合

全国の平均的な 傾向【試算結果】	流量	洪水発生頻度
	約1.2倍	約2倍

※ 流量変化倍率及び洪水発生頻度の変化倍率は、一級水系の河川整備の基本とする洪水規模（1/100～1/200）の降雨に降雨量変化倍率を乗じた場合と乗じない場合で算定した、現在と将来の変化倍率の全国平均値



気候変動を踏まえた河川整備基本方針の変更予定水系

R6.12.18時点

- 気候変動を踏まえた基本方針の見直しを行った水系：21水系
- 今回、気候変動を踏まえた基本方針の見直しを行った水系：2水系
- 今後、気候変動を踏まえた基本方針の見直しを予定している水系：4水系

全水系数：109



再繁茂対策と自然再生に対する取組 について

【雲出川】河川整備計画メニュー

◇河川整備計画では、概ね30年間で段階的に以下に示す整備メニューを実施している。

◇令和3年度から中流部8k～9k付近の掘削を開始している。

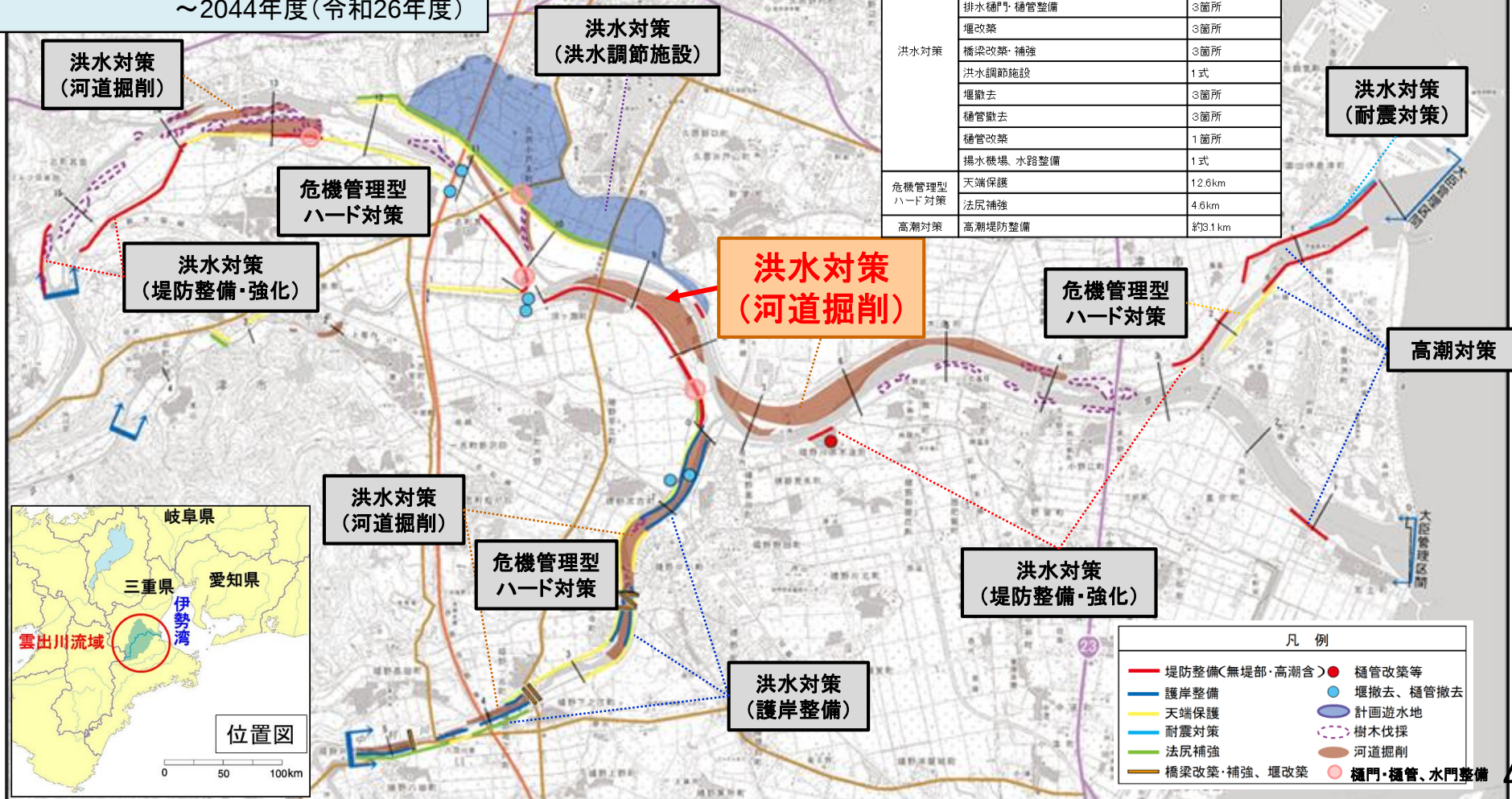
【事業概要】

事業費：約304億円

事業期間：2015年度（平成27年度）

～2044年度（令和26年度）

目的	整備内容	
洪水対策	堤防整備・堤防強化（護岸整備等含む）	約14.9km
	河道掘削（樹木伐採含む）	約151.5万m³
	水門整備	一式
	排水樋門・樋管整備	3箇所
	堰改築	3箇所
	橋梁改築・補強	3箇所
	洪水調節施設	1式
	堰撤去	3箇所
	樋管撤去	3箇所
	樋管改築	1箇所
危機管理型ハード対策	揚水機場・水路整備	1式
	天端保護	12.6km
高潮対策	法尻補強	4.6km
	高潮堤防整備	約3.1km



【雲出川】中流部における河道の現況

◇雲出川では、河川整備計画において、中流部に遊水地を整備することとしているが、計画どおりの越流を可能にし、適時・的確な洪水調節を行うためには、安定した河道を構築していくことが不可欠。

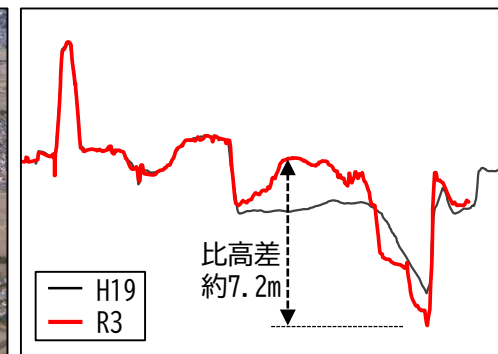
◇河道の現況としては、高水敷と河床の比高差が大きい区間が存在する。

雲出川中流部の状況



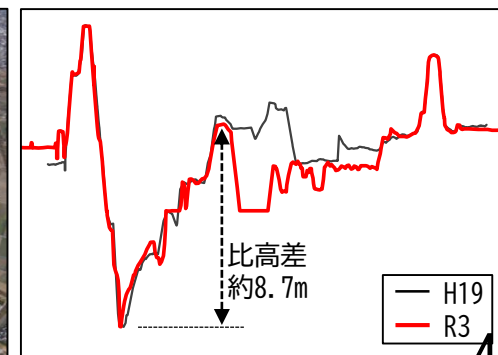
9.8k付近

●旧堤により、流れが右岸側に集中し、滞筋が固定



8.2k付近

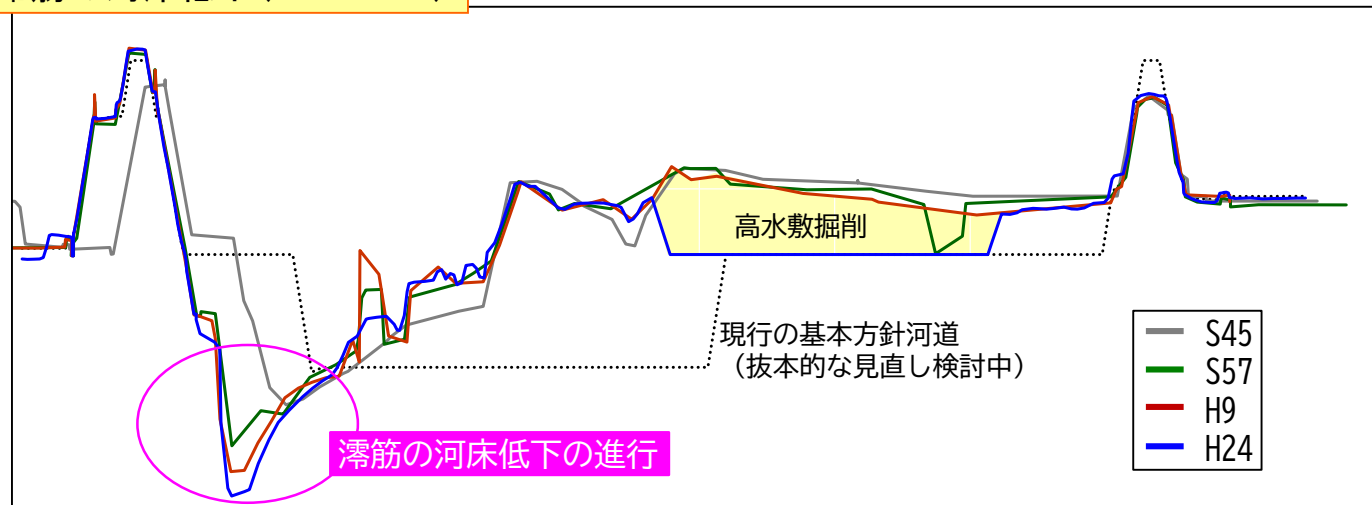
●右岸側の高水敷が張り出しているため、流れが左岸側に集中



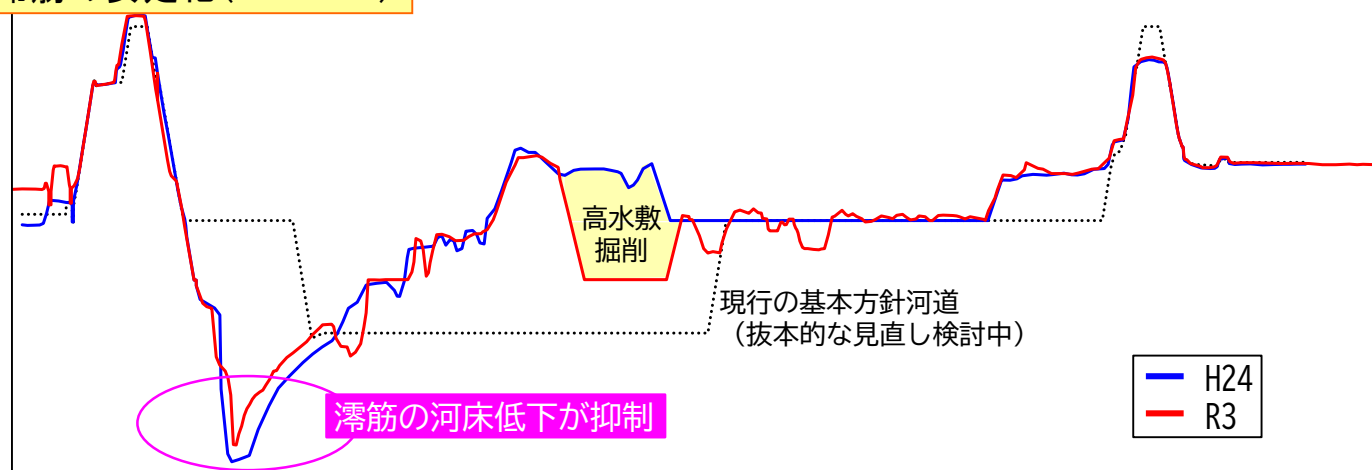
【雲出川】8.2k付近における滯筋の河床高の変遷

- ◇雲出川8.2k付近は、滯筋の河床低下が進み、高水敷と河床の比高差が拡大する傾向にあったが、近年は安定傾向にある。
- ◇この傾向の変化は、流下断面確保のための高水敷掘削により、滯筋への過度の流れの集中が緩和されたことも、要因のひとつと推察する。

滯筋の河床低下 (S45→H24)



滯筋の安定化 (H24→R3)



【課題】

高水敷掘削断面が、環境にとって望ましい形態となっていない。

【方針】

以下の目的が達成できる河道形成に向け、試行していく。

- 流下能力確保
- 河道の安定
- 河川環境の創出

【雲出川】8.2k付近における水辺環境創出に向けた取組

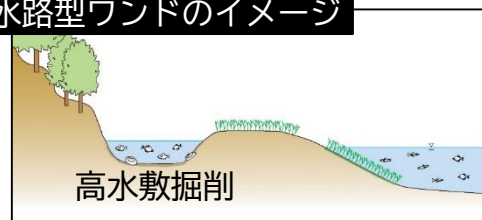
◇雲出川中流部においては、複数の無堤区間があることから、水位低下に向けた高水敷掘削により、冠水頻度の低下とヒューズ効果の増強を図るとともに、今後整備する遊水地前面の河道であることから、河道断面の安定化を図る必要がある。

◇これらは河川環境の創出という観点とともに行う必要があるため、今後実施予定の高水敷掘削で試行していく。

【案】試行内容(高水敷掘削:8.2k)

◇掘削水路の横断形は、湿地性植生が回復しやすいよう、法勾配は1:5の緩勾配とする。

水路型ワンドのイメージ



高水敷掘削

現行の基本方針河道
(抜本的な見直し検討中)

R3

高水敷掘削

幅20m程度

高水敷掘削(水路)のねらい

- ・流下能力向上
- ・河道の安定化(再繁茂抑制含む)
- ・ワンドの創出

- 濁水位程度で掘削することでワンドを形成する。
- 素掘りとすることで、自然の営力により水路の縦断形、横断形が変化し、多様性に富んだ水辺環境が創出されることに期待。
- 目指すべき河道に向かっていなければ、適宜改善していく。

試行で蓄積した知見の活用

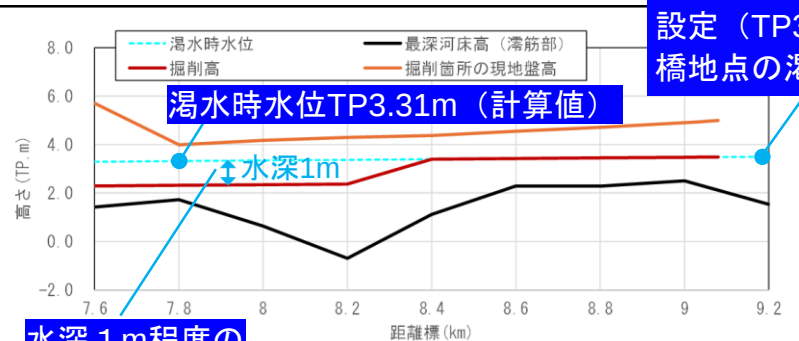
- 試行区間の上流側は、遊水地整備に伴い旧堤を撤去することになる。
 - 旧堤により平面死水域であった範囲も含め、新たな河道場を形成していくこととなる。
- ↓
- 目指すべき河川環境の水準を明確化した上で、試行により蓄積した知見を活用しつつ、生物の生息・生育・繁殖の場としてもふさわしい河川整備を行っていく。



【雲出川】8.2k付近における水辺環境創出イメージ

◇掘削水路は満水位まで掘削を行うため、満水時にも通水できる高さとなり、上流側は湿地環境に依存する生物の生息場を創出し、下流側は魚類の生息場となるワンド環境の創出を図る。

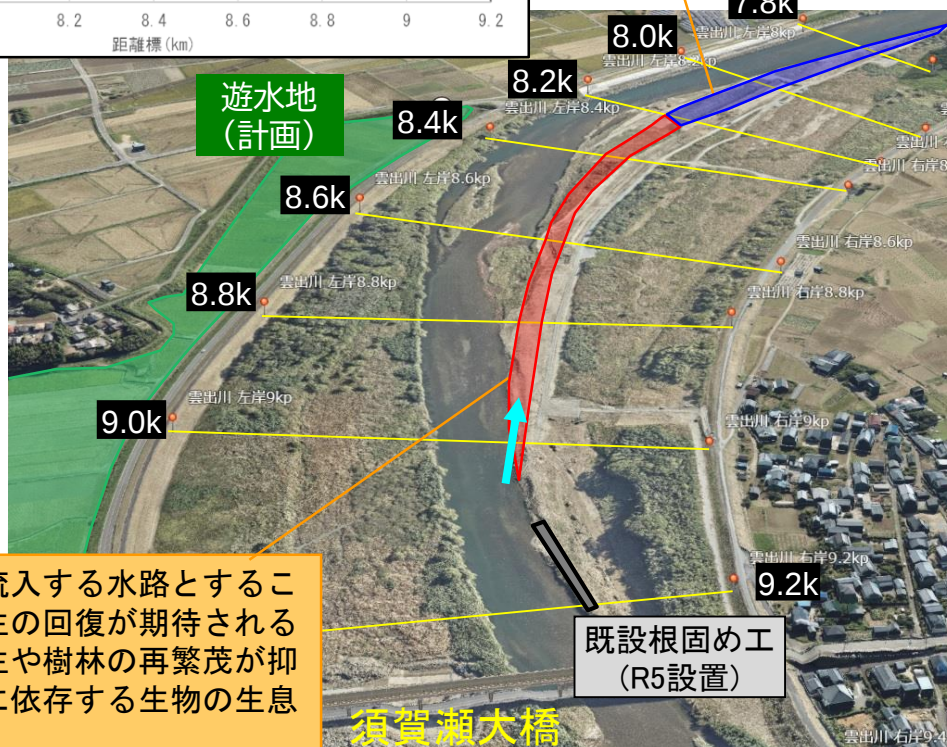
掘削水路のイメージ



水深1m程度のワンドを創出

満水時に流入するよう、上流側は満水時の高さで設定 (TP3.5m; 須賀瀬橋地点の満水時水位)

ワンド状の深場を形成することで、魚類の生息環境を創出する。

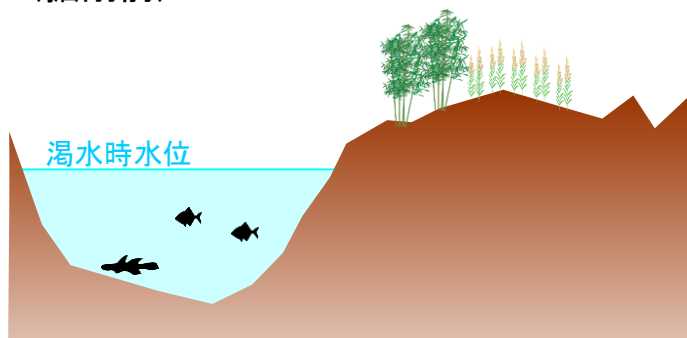


満水時においても流入する水路とすることで、湿地性の植生の回復が期待されるとともに、外来植生や樹林の再繁茂が抑制され、湿地環境に依存する生物の生息場が拡大する。

整備イメージ

整備イメージ (掘削前)

メダケや外来植生 (セイタカアワダチソウ) が繁茂



(掘削後)

湿地環境が創出され、湿地性の植生や湿地環境に依存する生物の生息場が拡大

